



# 内部コンポーネントと現場交換可能ユニットの取り付け

このマニュアルでは、Cisco Catalyst 8300 シリーズ エッジプラットフォームの内部コンポーネントと現場交換可能ユニット（FRU）を装着する方法について説明します。装着についての情報は、次のセクションにあります。

- [安全上の警告](#)（1 ページ）
- [内部コンポーネントの配置とアクセス](#)（3 ページ）
- [DDR DIMM の取り外しと交換](#)（6 ページ）
- [電源の取り外しと交換](#)（9 ページ）
- [Cisco Catalyst 8300 シリーズ エッジプラットフォーム用ファントレイの交換](#)（33 ページ）
- [SFP モジュールと SFP+ モジュールの取り付けおよび取り外し](#)（37 ページ）
- [USB フラッシュ トークン メモリ スティックの取り外しと交換](#)（40 ページ）
- [M.2 USB|NVMe モジュールの取り外しおよび取り付け](#)（42 ページ）
- [M.2 USB|NVMe モジュールの取り外し](#)（42 ページ）
- [M.2 USB|NVMe モジュールの取り付け](#)（43 ページ）
- [自己暗号化ドライブの管理](#)（44 ページ）

## 安全上の警告



**警告** 高タッチ/リーク電流：通信ネットワーク接続の前に、保護アースを恒久的に接続する必要があります。



**警告** クラス 1 レーザー製品です。ステートメント 1008



**警告** 感電を避けるため、通常の使用で、この装置のシャーシは永久接続により接地する必要があります。ステートメント 0445



**警告** 感電または火災のリスクを軽減するため、容易にアクセス可能な二極切断装置を固定配線に組み込む必要があります。ステートメント 1022



**警告** 接続されていない光ファイバケーブルやコネクタからは目に見えないレーザー光が放射されている可能性があります。レーザー光を直視したり、光学機器を使用して直接見たりしないでください。ステートメント 1051



**警告** 未終端の光ファイバの末端またはコネクタから、目に見えないレーザー光が放射されている可能性があります。光学機器で直接見ないでください。ある種の光学機器（ルーペ、拡大鏡、顕微鏡など）を使用し、100 mm 以内の距離でレーザー出力を見ると、目を傷めるおそれがあります。ステートメント 1056



**警告** この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できません。熟練者の説明については、「ステートメント 1089」を参照してください。



**警告** この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できません。熟練者の説明については、「ステートメント 1089」を参照してください。ステートメント 1090



**警告** この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できません。熟練者の説明については、「ステートメント 1089」を参照してください。ステートメント 1091



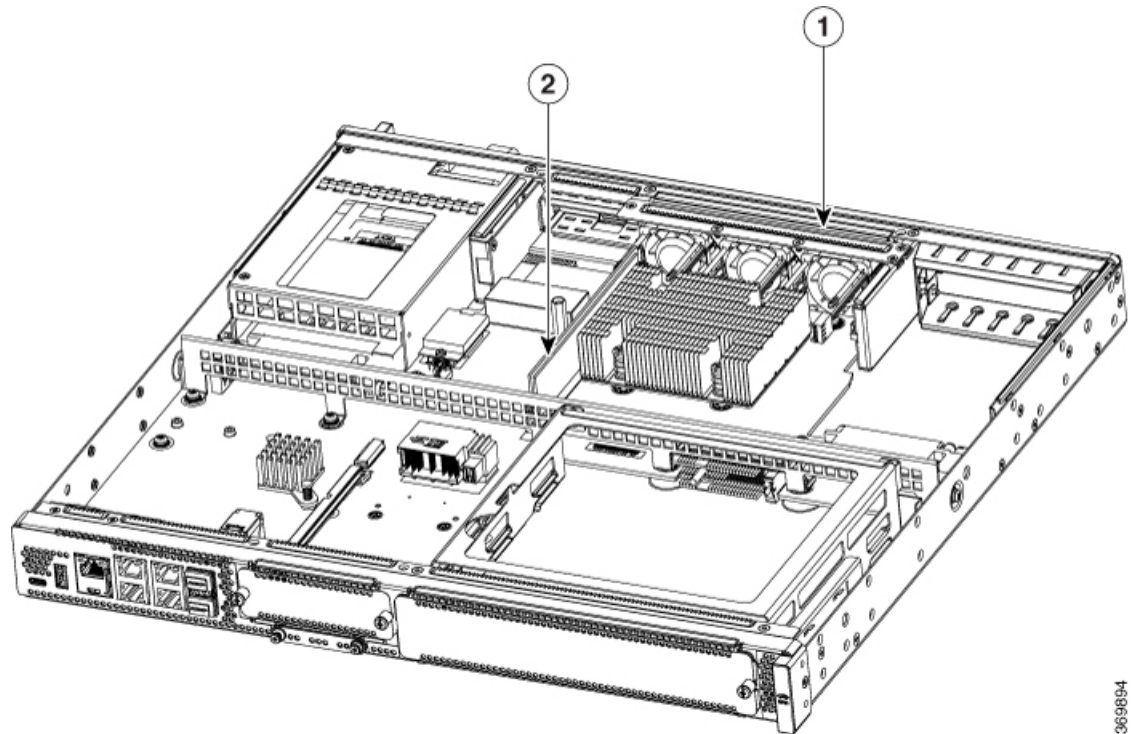
**警告** プラガブル型の光モジュールは、IEC 60825-1 Ed に準拠しています。IEC 60825-1 Ed への準拠に関する例外の有無にかかわらず、3 および 21 CFR 1040.10 と 1040.11。3 は 2019 年 5 月 8 日付の Laser Notice No. 56 の記載のとおりです。ステートメント 1255

## 内部コンポーネントの配置とアクセス

下図は、マザーボード上の内部コンポーネントの位置を示しています。内部モジュールには、Cisco Catalyst 8300 シリーズ エッジプラットフォームの DIMM が含まれます。

デバイスの内部コンポーネントにアクセスするには、最初にシャーシカバーを取り外す必要があります。デバイスのシャーシカバーを取り外して交換する方法については、シャーシカバーの取り付けと取り外しに関するセクションを参照してください。

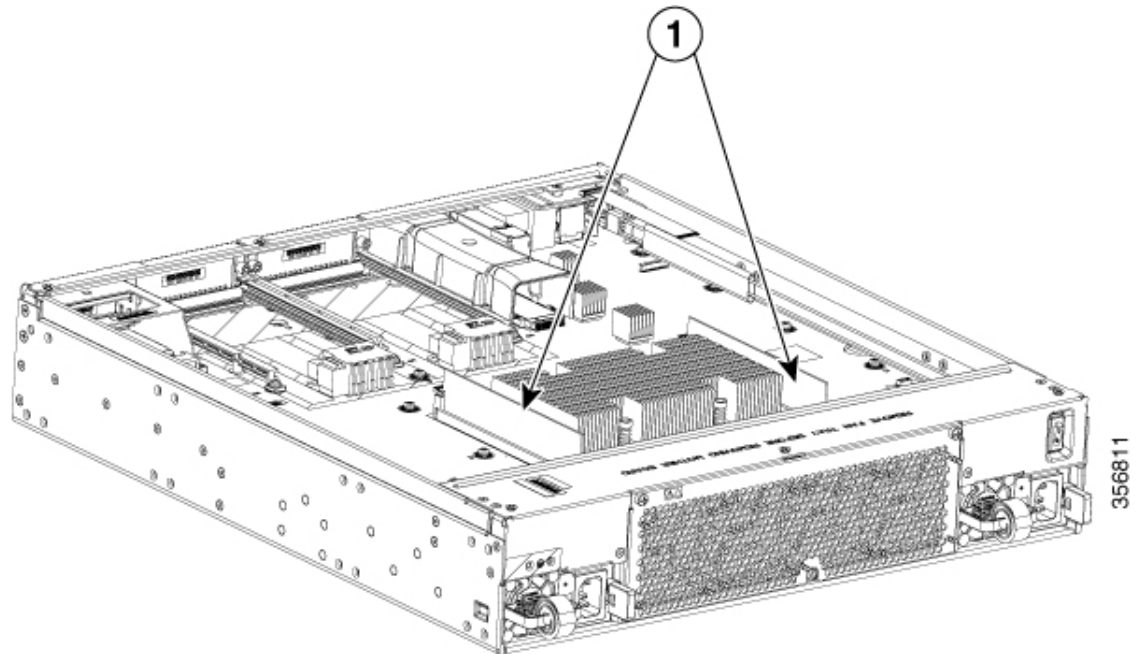
図 1: C8300-1N1S-4T2X/6T の内部コンポーネントの位置



369894

番号	モジュール
1	ファントレイ
2	DIMM

図 2: C8300-2N2S-4T2X/6T の内部コンポーネントの位置



番号	モジュール
1	DIMM

## シャーシカバーの取り外しと付け直し

Cisco Catalyst 8300 シリーズ エッジプラットフォームには着脱式のカバーがあります。カバーを取り外す前に、次の手順を実行します。

- カバーを外した状態でデバイスを実行しないでください。カバーなしでシャーシを使用すると、ルータが急速に過熱状態になる可能性があります。
- TNV に接触しないように、シャーシを開く前に電話線を取り外してください。ステートメント 1041
- すべての電源ケーブルを外します。
- ラックからデバイスを取り外します。

次の作業には、No.2 プラス ドライバを使用します。

### シャーシカバーの取り外し

カバーを取り外すには、次の手順に従います。

**ステップ 1** モジュールを交換する前に、「安全上の警告」を読み、電源を切断します。

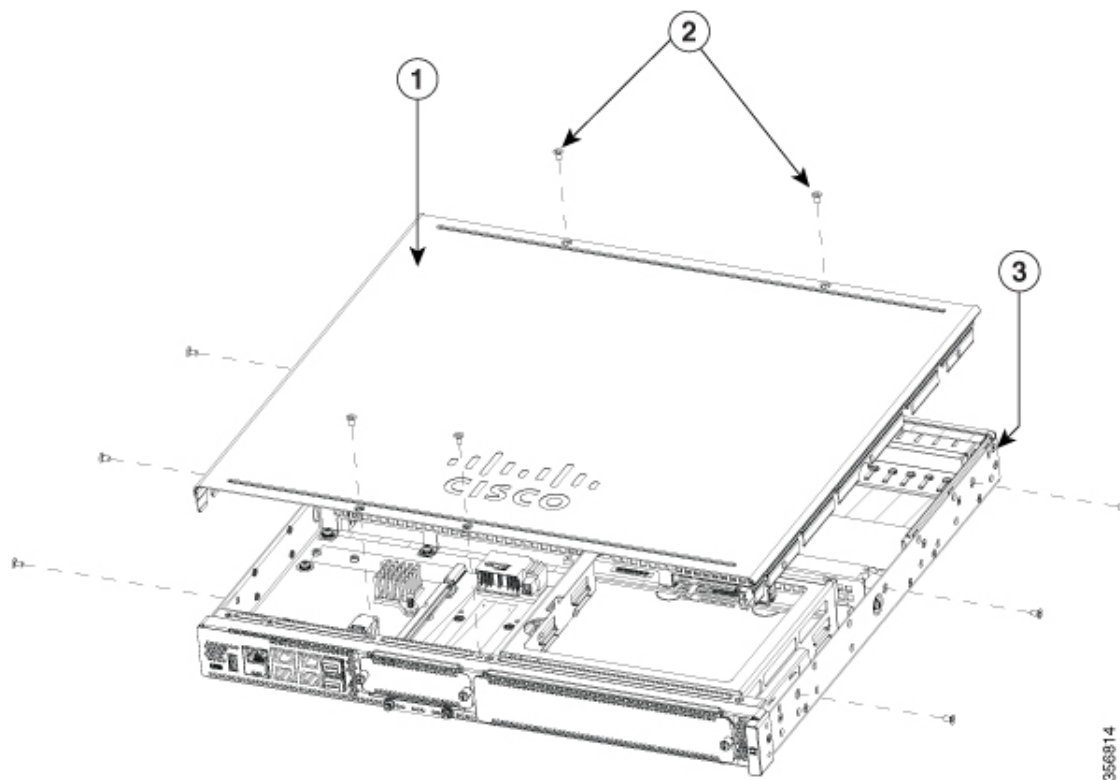
- ステップ2** デバイスの電源がオフで、電源装置から外されていることを確認します。冗長電源を使用している場合、冗長電源の接続を外します。
- ステップ3** シャーシを平らな場所に置きます。
- ステップ4** C8300-1N1S-4T2X|6T の場合、11 本のカバーネジを取り外します。C8300-2N2S-4T2X|6T の場合、6 本のカバーネジを取り外します。
- ステップ5** カバーをまっすぐ持ち上げます。

## カバーの交換

シャーシカバーを交換するには、次の手順に従います。

- ステップ1** シャーシを平らな場所に置きます。
- ステップ2** カバーを真下に下げ、側面フランジがシャーシに挿入されていることを確認します。EMCガasketを損傷しないように注意する必要があります。
- ステップ3** C8300-1N1S-4T2X|6T の場合、11 本のカバーネジを取り付けます。C8300-2N2S-4T2X|6T の場合、6 本のカバーネジを取り付けます。

図 3: C8300-1N1S-4T2X|6T へのカバーの取り付け

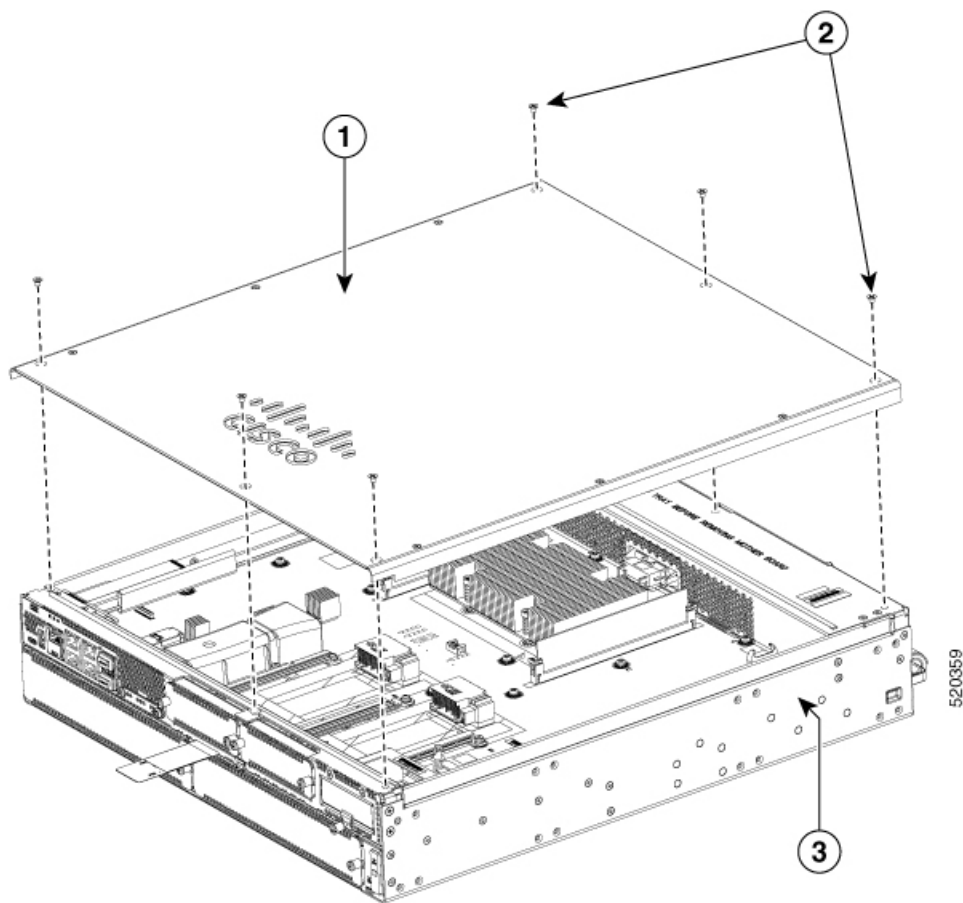


1	シャーシ カバー
---	-------------

356814

2	ネジ
3	シャーシ

図 4: C8300-2N2S-4T2X|6T へのカバーの取り付け



1	シャーシカ バー
2	ネジ
3	シャーシ

## DDR DIMM の取り外しと交換

DIMM にアクセスするには、モジュールへのアクセスとモジュールの取り付けに関するセクションの説明に従ってシャーシカバーを取り外します。



**注意** DIMM の取り外しまたは装着時には、常に静電気防止用リストストラップを肌に密着させて着用してください。リストストラップの装置側をシャーシの金属部分に接続します。

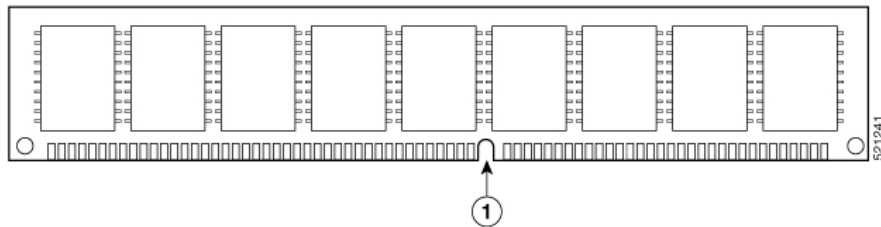


**注意** DIMM を扱う場合は、必ず端を持ってください。DIMM は静電気の影響を受けやすいコンポーネントなので、扱いを誤ると損傷するおそれがあります。

## DIMM の位置と向き

DIMM 挿入側には、挿入方向を間違えないように方向ノッチがあります。次のイメージに、DIMM の方向ノッチを示します。

図 5: DIMM と方向ノッチ



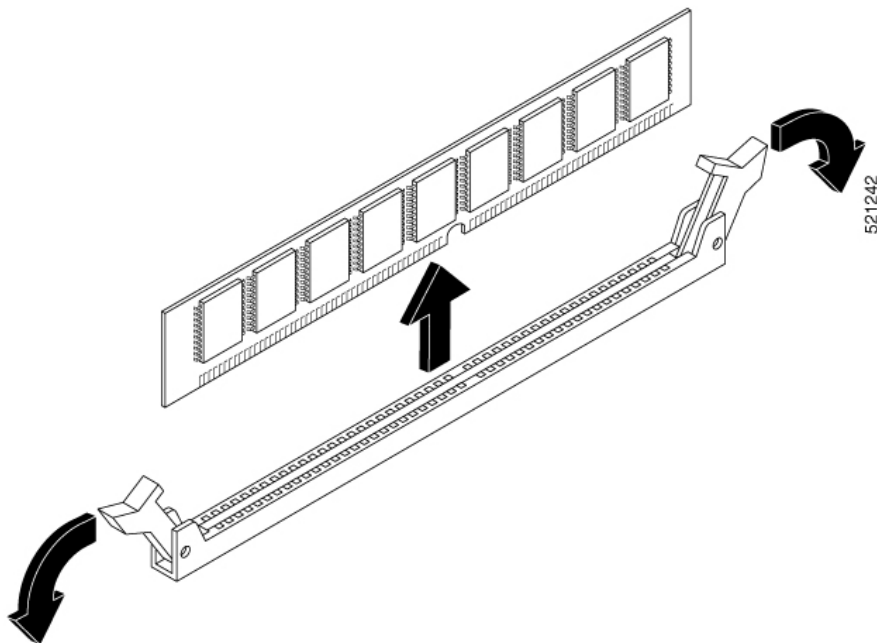
1	方向ノッチ
---	-------

## DIMM の取り外し

DIMM を取り外す手順は、次のとおりです。

- ステップ 1 モジュールを交換する前に、「安全上の警告」セクションを読み、電源を切断します。
- ステップ 2 カバーがまだ取り外されていない場合は、シャーシカバーを取り外します。
- ステップ 3 DIMM モジュールの位置を確認して、シャーシの DIMM ソケットを見つけます。
- ステップ 4 DIMM コネクタハンドルを下に回転させて、DIMM モジュールを取り外します。

図 6: DIMM の取り外し

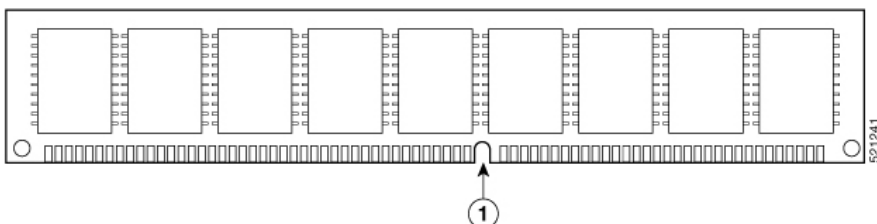


## DIMM の取り付け

Cisco Catalyst 8300 シリーズ エッジデバイスに DIMM を取り付ける手順は、次のとおりです。

- ステップ 1 DIMM の交換の前に「安全上の警告」セクションを読み、電源を切断します。
- ステップ 2 カバーがまだ取り外されていない場合は、シャーシカバーを取り外します。
- ステップ 3 DIMM モジュールの位置を確認して、デバイスの DIMM ソケットを見つけます。
- ステップ 4 DIMM コネクタの両方のラッチが開いていることを確認します。
- ステップ 5 方向ノッチがコネクタの方向キーに合うように DIMM の向きをそろえます。

図 7: DIMM と方向ノッチ

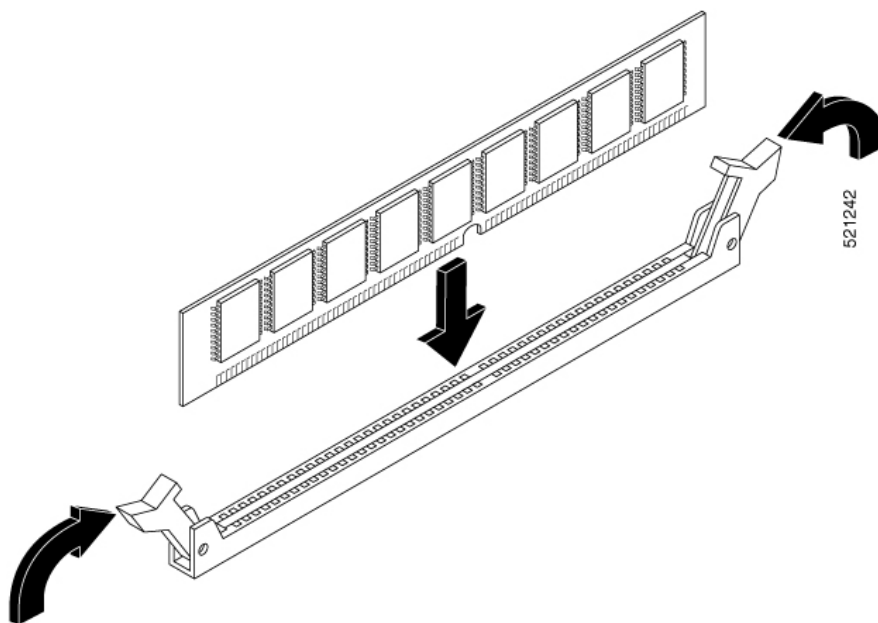


- ステップ 6 コネクタに DIMM を片方ずつ挿入します。
- ステップ 7 コネクタハンドルを上回転させ、所定の位置にカチッとはめ込みます。



ステップ8 シャーシカバーを再度取り付けます。

図8: DIMMの取り付け



ステップ9 シャーシカバーを元に戻します。

## 電源の取り外しと交換



**警告** ブランクの前面プレートおよびカバーパネルには、3つの重要な機能があります。シャーシ内の危険な電圧および電流による感電を防ぐこと、他の装置への電磁干渉（EMI）の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の冷気の流れを適切な状態に保つことです。システムは、必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーを正しく取り付けられた状態で運用してください。ステートメント 1029



**警告** この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。すべての接続を取り外し、装置の電源を遮断する必要があります。ステートメント 1028



**警告** 電源を取り外す際には（特にブーストモードで動作している場合は）、注意が必要です。総消費電力が、1 台の電源だけで供給可能な電力を超えている場合、この状態で電源を取り外すとハードウェアが損傷する可能性があります。その結果、システムが不安定になったり使用できない状態になることがあります。

## AC 電源装置

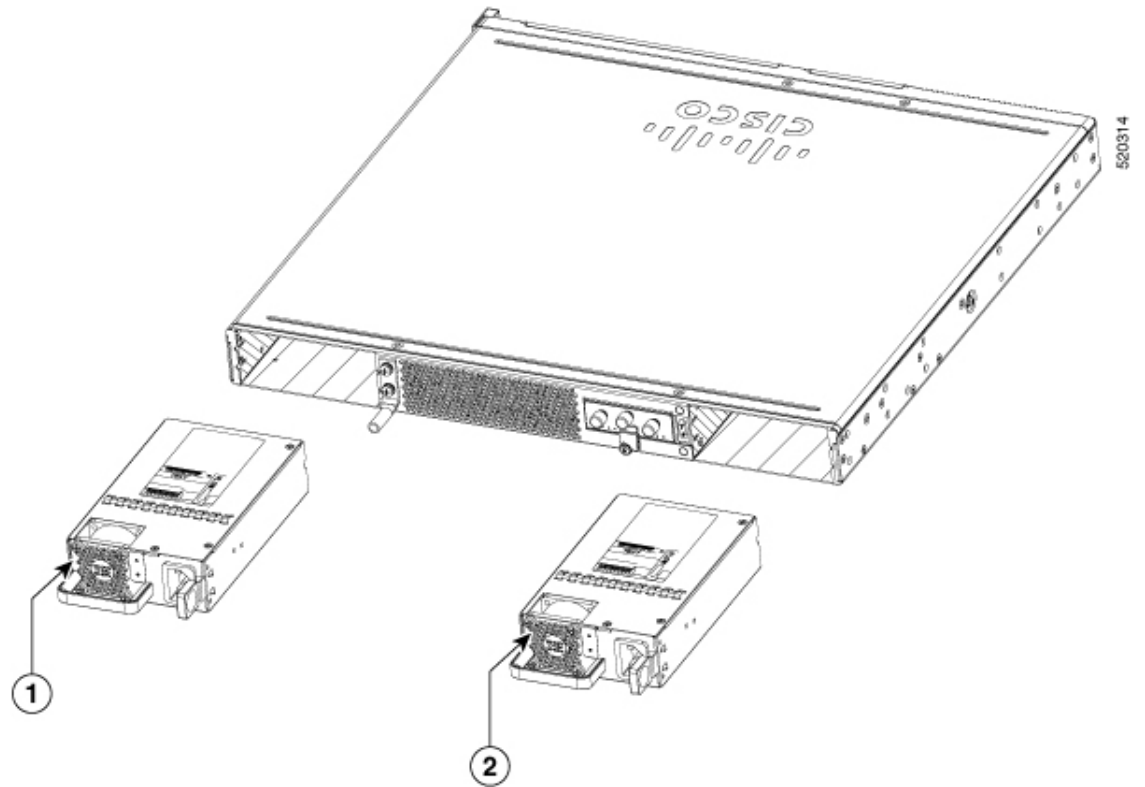
C8300-1N1S-4T2X|6T デバイスには 2 種類の AC 電源タイプがあり、物理的なサイズは同じです。C8300-2N2S-4T2X|6T デバイスにも 2 種類の AC 電源タイプがあり、物理的なサイズは同じですが、C8300-1N1S-4T2X|6T のものとはサイズが異なります。電源装置を交換することはできません。

## AC 電源の概要

C8300-1N1S-4T2X|6T デバイスの AC 電源は次のとおりです。2 つの電源は物理的に類似していますが、下図を参照してください。

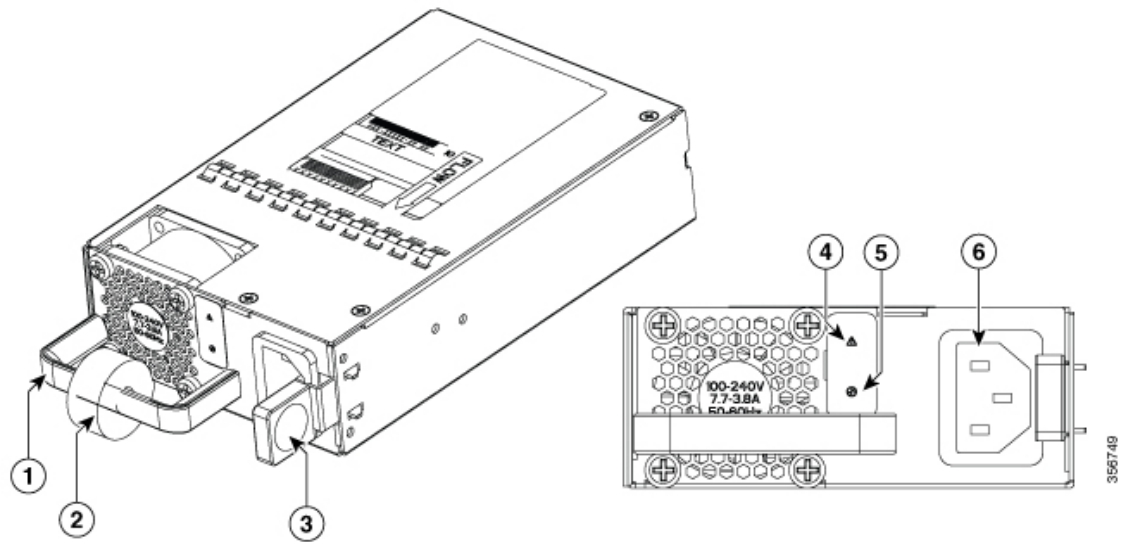
- PWR-CC1-250WAC
- PWR-CC1-500WAC

図 9 : C8300-1N1S-4T2X/6T 用 250W/500W AC 電源



番号	モジュール
1	PSU1
2	PSU0

図 10 : C8300-1N1S-4T2X|6T 用 250W/500W AC 電源

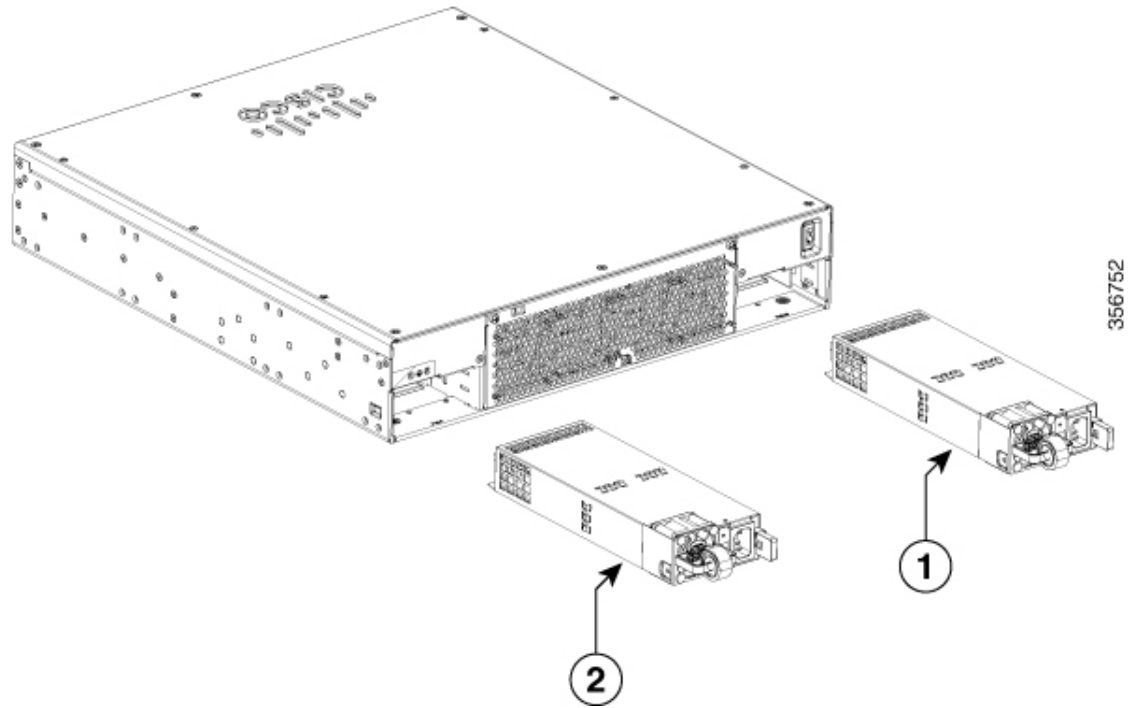


1 ハンドル	2 ストレインリリーフ
3 ラッチ	4 障害 LED
5 ステータス LED	6 電源ソケット

C8300-2N2S-4T2X|6T デバイスの AC 電源は次のとおりです。2つの電源は物理的に類似しています、下図を参照してください。

- PWR-CC1-650WAC
- PWR-CC1-1000WAC

図 11 : C8300-2N2S-4T2X/6T 用 650WAC/1000WAC 電源



番号	モジュール
1	PSU0
2	PSU1

図 12: C8300-2N2S-4T2X|6T 用 650W/1000W AC 電源

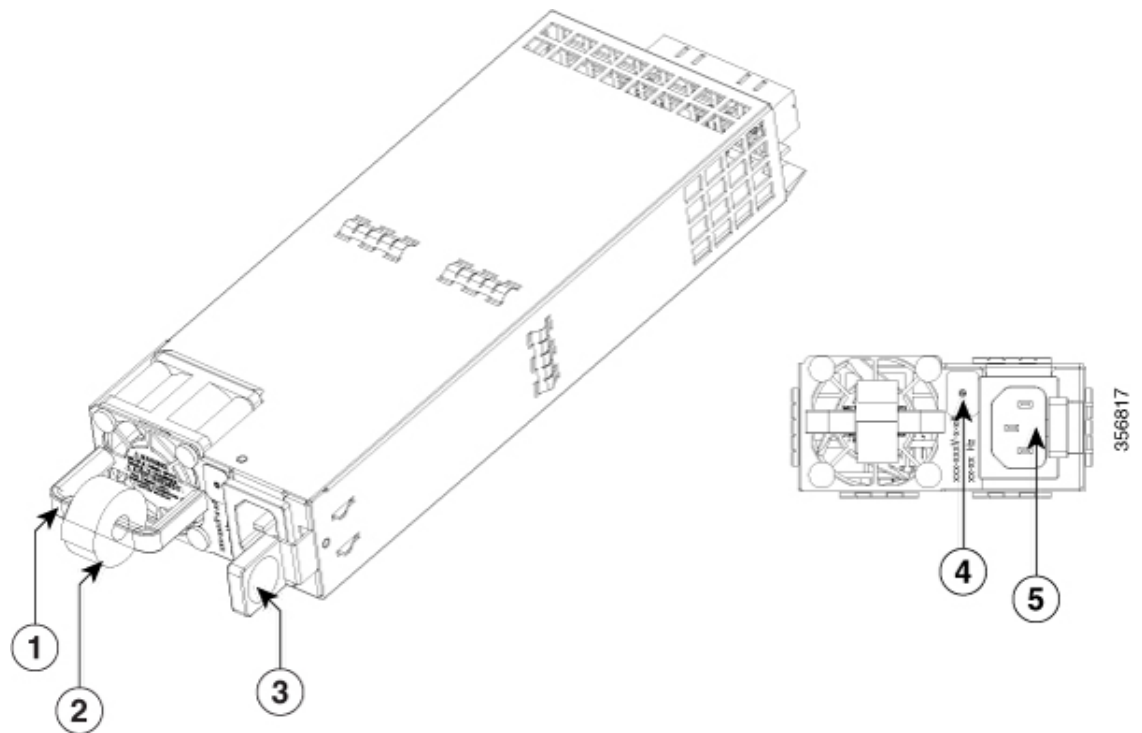


表 1: C8300-2N2S-4T2X|6T 用 650W/1000W AC 電源

1 ハンドル	2 ストレインリリーフ
3 ラッチ	4 ステータス LED
5 電源ソケット	

## AC 電源と HVDC 電源 (C8300-1N1S-4T2X|6T) の取り外しと交換

C8300-1N1S-4T2X|6T から AC 電源を取り外すには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** このドキュメントの「安全上の警告」セクションをお読みください。
- ステップ 2** システムに電源が 1 つしかない場合は、電源を取り外す前にデバイスをシャットダウンします。
- ステップ 3** 使用中の冗長電源がある場合、電源装置を交換する前にデバイスをシャットダウンする必要はありません。電源装置は、デバイスの稼働中に交換できます。
- ステップ 4** 使用中の場合は、電源ケーブルを電源のラッチに固定しているストレインリリーフを取り外します。
- ステップ 5** AC 電源コードを電源ソケットから取り外します。
- ステップ 6** 電源のラッチを押し、ハンドルを使用して電源装置をデバイスから引き出します。

図 13: ステップ 4

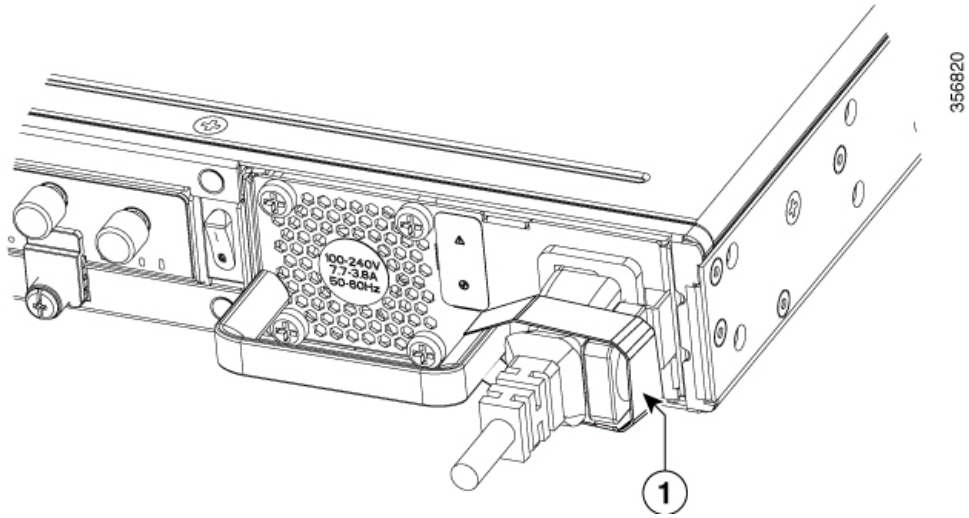


図 14: ステップ 5

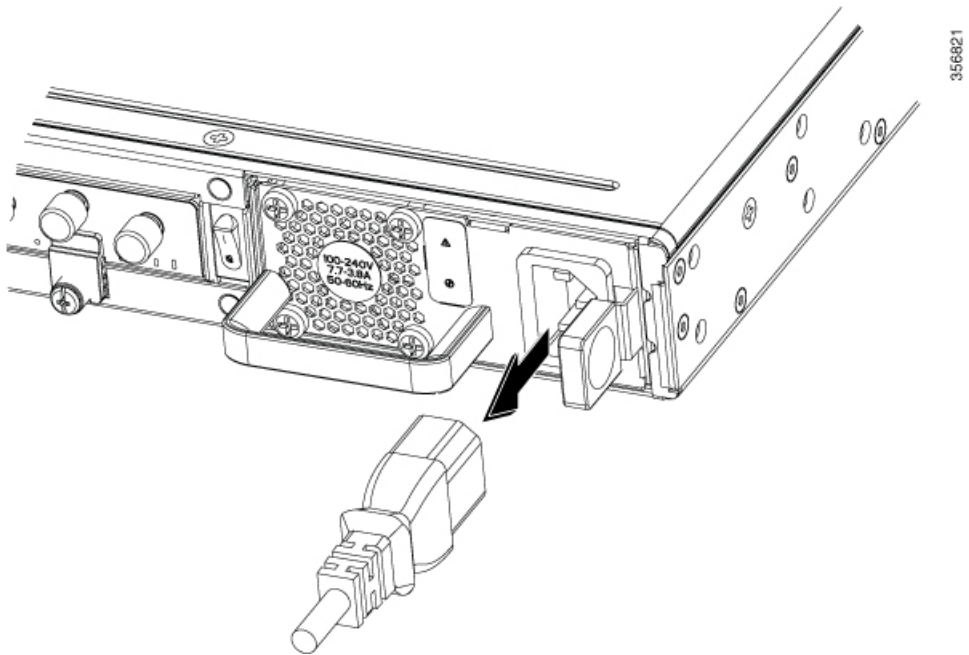
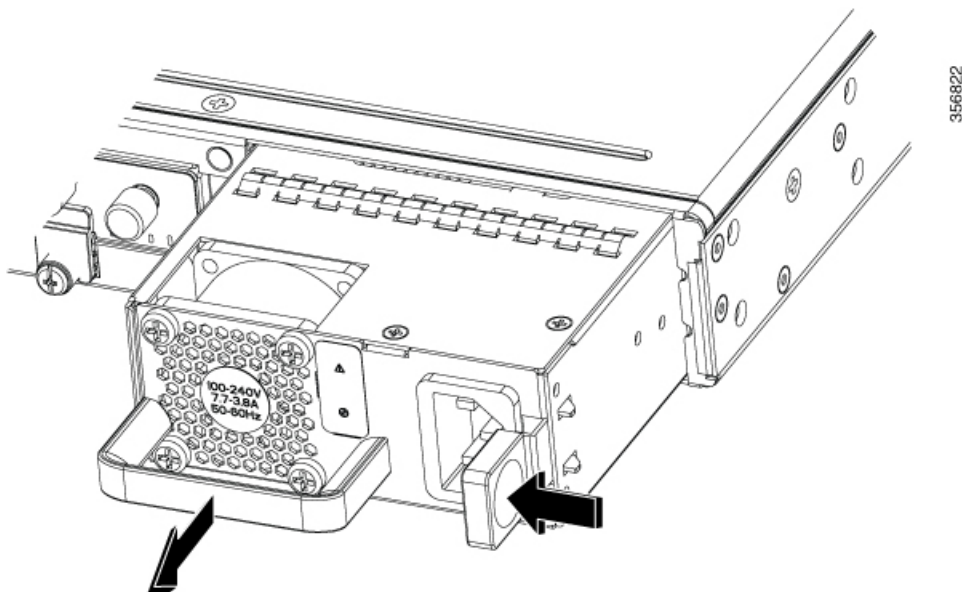


図 15: ステップ 6



C8300-1N1S-4T2X|6T デバイスの AC 電源装置の交換または取り付けを行うには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 ハンドルを使用して、電源をルータに押し込みます。電源が完全に装着されると、電源のラッチでカチッという音がします。
- ステップ 2 AC 電源コードを電源装置の電源ソケットに取り付けます。
- ステップ 3 使用する場合は、電源コードと電源ラッチの周りにストレインリリーフストラップを再度取り付けます。
- ステップ 4 デバイスの電源がオフになっている場合は、デバイスの電源をオンにします。

## AC 電源（C8300-2N2S-4T2X|6T）の取り外しと交換

C8300-2N2SS-4T2X|6T デバイスから AC 電源を取り外すには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 このドキュメントの「安全上の警告」セクションをお読みください。
- ステップ 2 システムに電源が 1 つしかない場合は、電源を取り外す前にデバイスをシャットダウンします。
- ステップ 3 使用中の冗長電源がある場合、電源装置を交換する前にデバイスをシャットダウンする必要はありません。電源装置は、デバイスの稼働中に交換できます。
- ステップ 4 使用中の場合は、電源ケーブルを電源のラッチに固定しているストレインリリーフを取り外します。
- ステップ 5 AC 電源コードを電源ソケットから取り外します。



ステップ 6 電源のラッチを押し、ハンドルを使用して電源をルータから引き出します。

図 16: C8300-2N2S-4T2X|6T からの AC 電源の取り外し

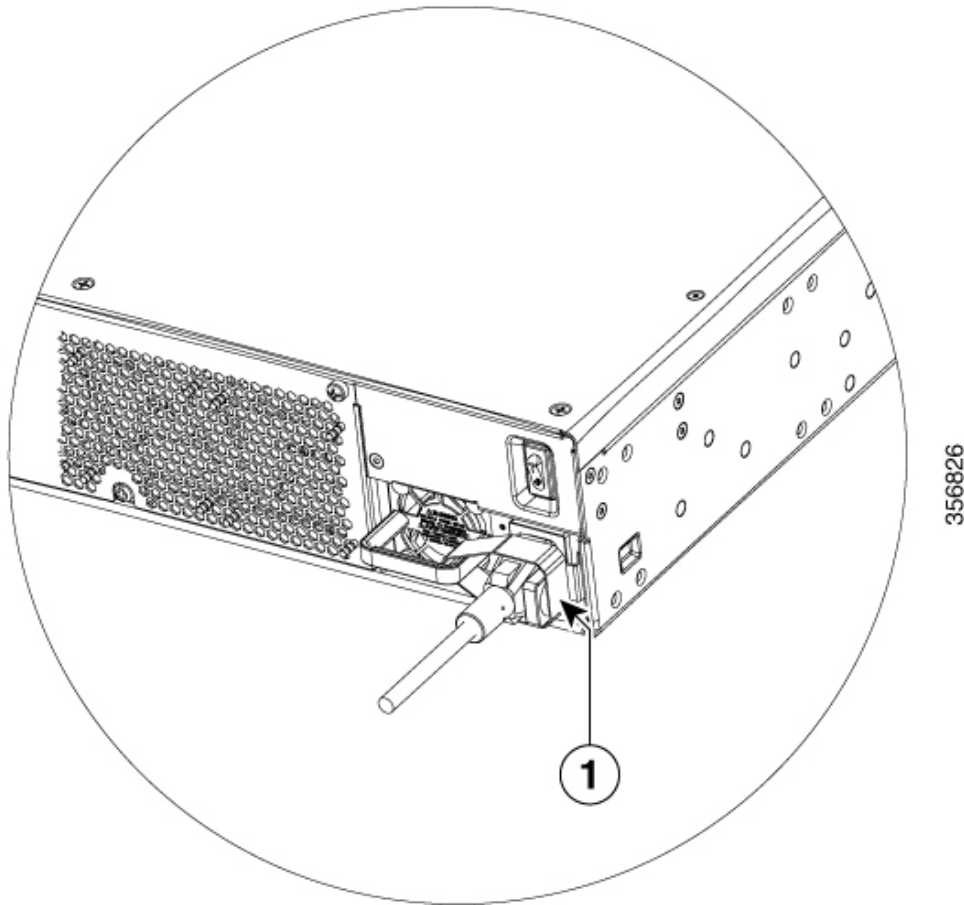
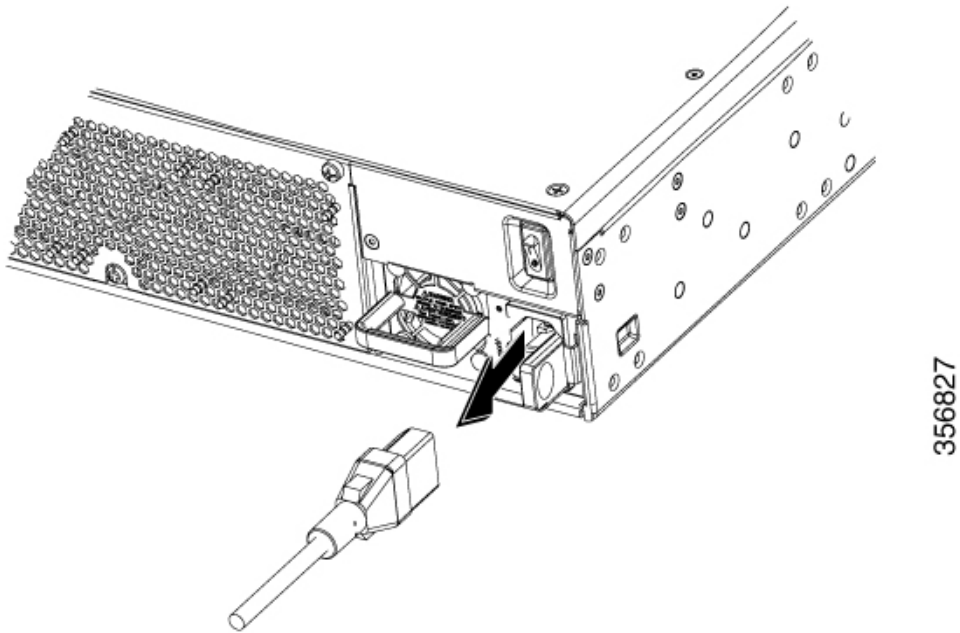
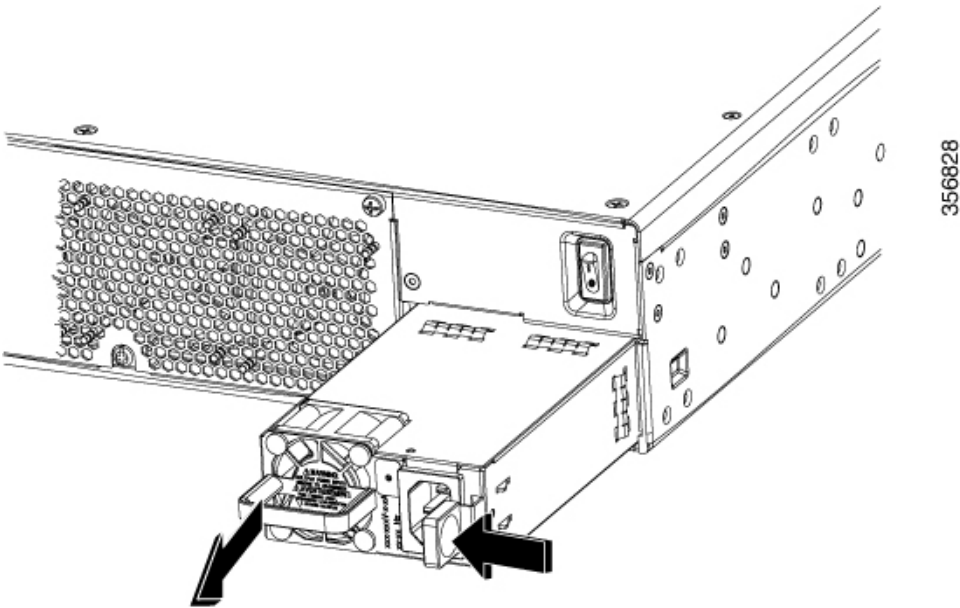


図 17: ステップ 5



356827

図 18: ステップ 6



356828

C8300-2N2S-4T2X|6T デバイスの AC 電源の交換または取り付けを行うには、次の手順を実行します。

- ステップ1** ハンドルを使用して電源をデバイスに押し込みます。電源が完全に装着されると、電源のラッチでカチッという音がします。
- ステップ2** AC 電源コードを電源装置の電源ソケットに取り付けます。
- ステップ3** 使用する場合は、電源コードと電源ラッチの周りにストreinリリースストラップを再度取り付けます。
- ステップ4** デバイスの電源がオフになっている場合は、デバイスの電源をオンにします。

## DC 電源モジュール

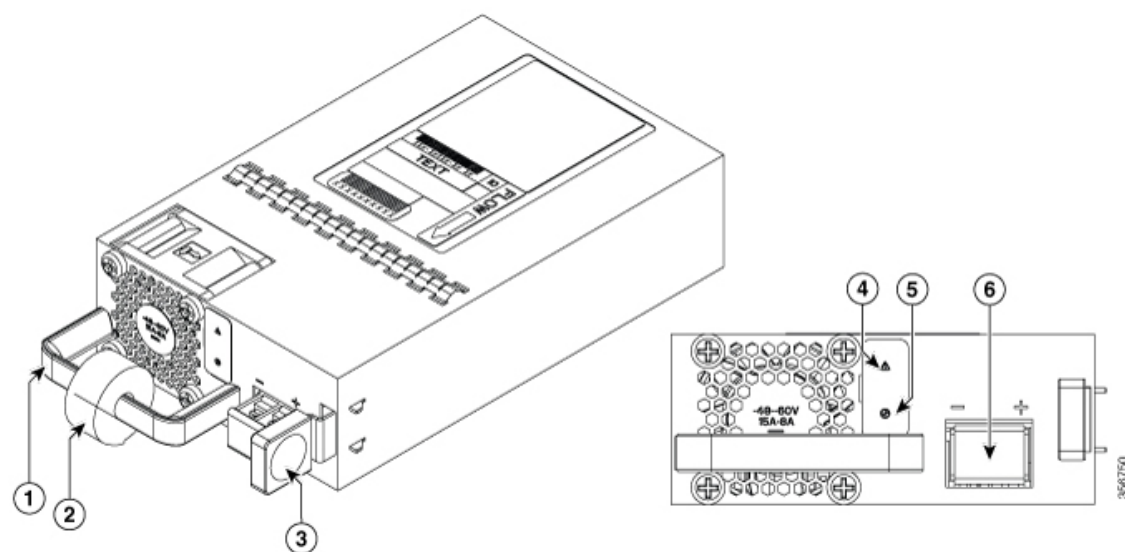
C8300-1N1S-4T2X|6T デバイスには1つの DC 電源タイプがあります。C8300 2N2S-4T2X|6T デバイスにも1つの DC 電源タイプがあります。AC 電源と同様に、DC 電源は同じサイズではないため、交換できません。

## DC 電源の概要

C8300-1N1S-4T2X|6T デバイス用の DC 電源を次の図に示します。

- PWR-CC1-400WDC
- PWR-CC1-400WHV

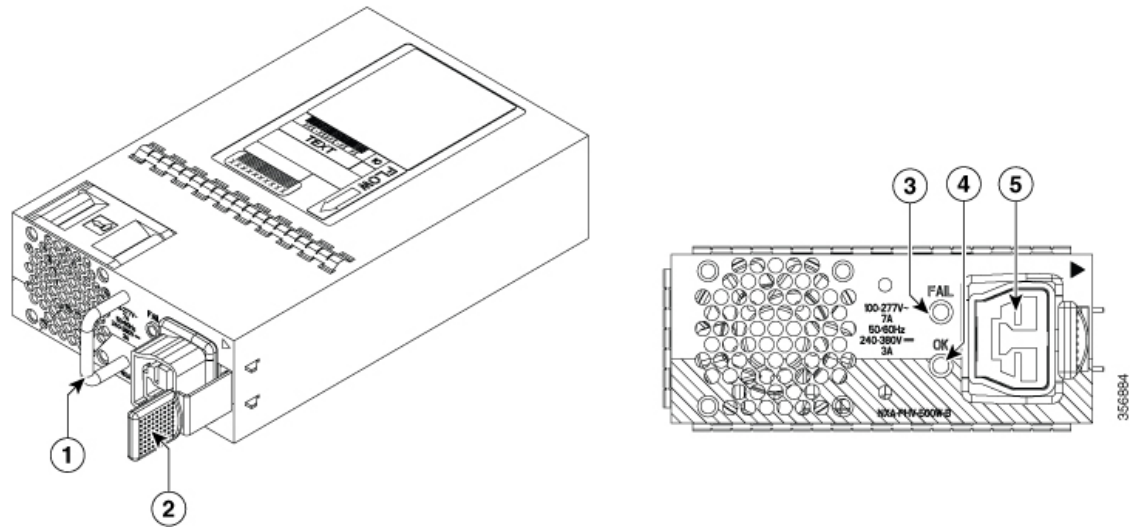
図 19: C8300-1N1S-4T2X|6T 用 400WDC 電源



1	ハンドル	2	ストreinリリースストラップ
3	ラッチ	4	障害 LED

5 ステータス LED	6 端子ブロック
----------------	----------

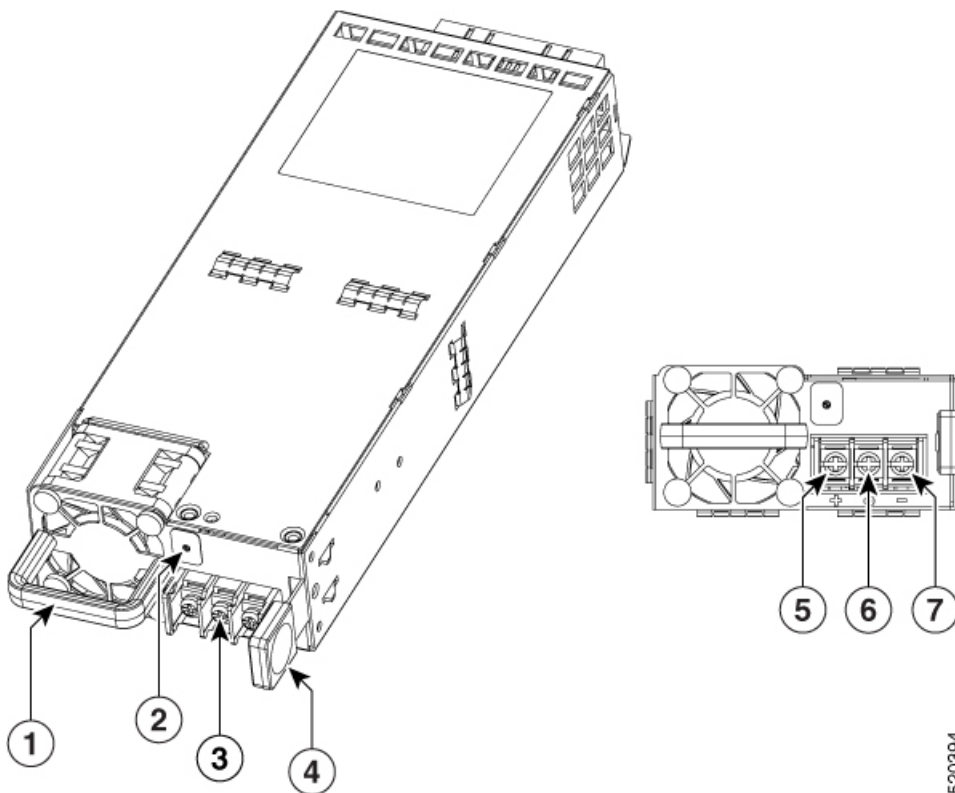
図 20: C8300-1N1S-4T2X|6T 用 400WHV 電源



1 電源ソケット	2 障害 LED
3 ステータス LED	4 ハンド ル
5 ラッチ	

C8300-2N2S-4T2X|6T デバイスの DC 電源を次の図に示します。

図 21 : C8300-2N2S-4T2X|6T 用 650WDC 電源



520394

1 ハンドル	2 ステータス LED
3 アース線	4 ラッチ
5 プラス (+) 導線	6 アース線
7 マイナス (-) 導線	

## DC 電源 (C8300-1N1S-4T2X|6T) の取り外しと交換

C8300-1N1S-4T2X|6T から DC 電源を取り外すには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** このドキュメントの「安全上の警告」セクションをお読みください。
- ステップ 2** システムに電源が 1 つしかない場合は、電源を取り外す前にデバイスをシャットダウンします。
- ステップ 3** 使用中の冗長電源がある場合、電源装置を交換する前にデバイスをシャットダウンする必要はありません。電源装置は、デバイスの稼働中に交換できます。
- ステップ 4** 配電盤またはローカル遮断器で、交換する電源装置に接続されている DC 電源リード線 (ラベル 1) から電源を取り外します。

## DC 電源 (C8300-1N1S-4T2X|6T) の取り外しと交換

**ステップ 5** 端子ブロックカバーを取り外し、電源ケーブルを固定している端子ネジ (ラベル **1**) を緩めます。端子ブロックから電源ケーブルを取り外します。

**ステップ 6** 電源のラッチを押し、ハンドルを使用して電源装置をデバイスから引き出します。

図 22: C8300-1N1S-4T2X|6T からの DC 電源の取り外し

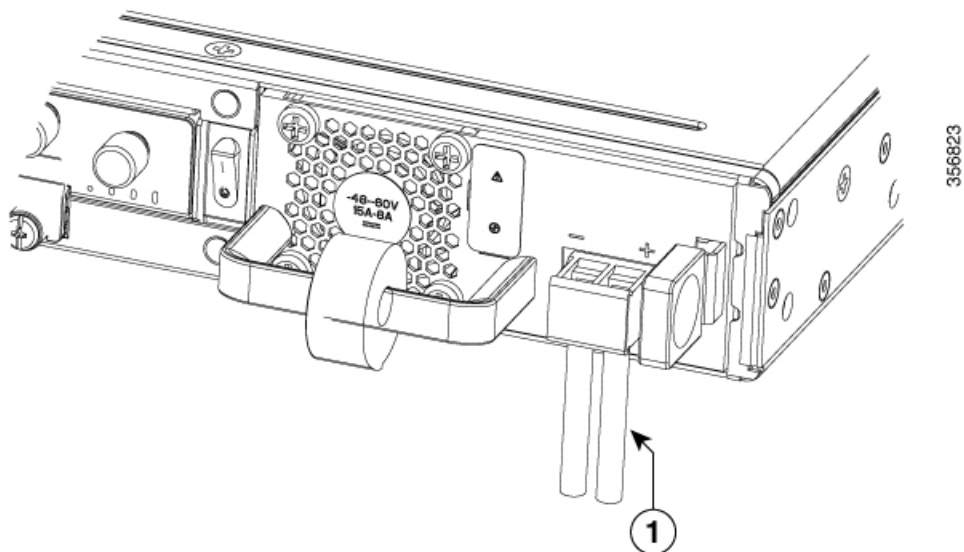


図 23: ステップ 5

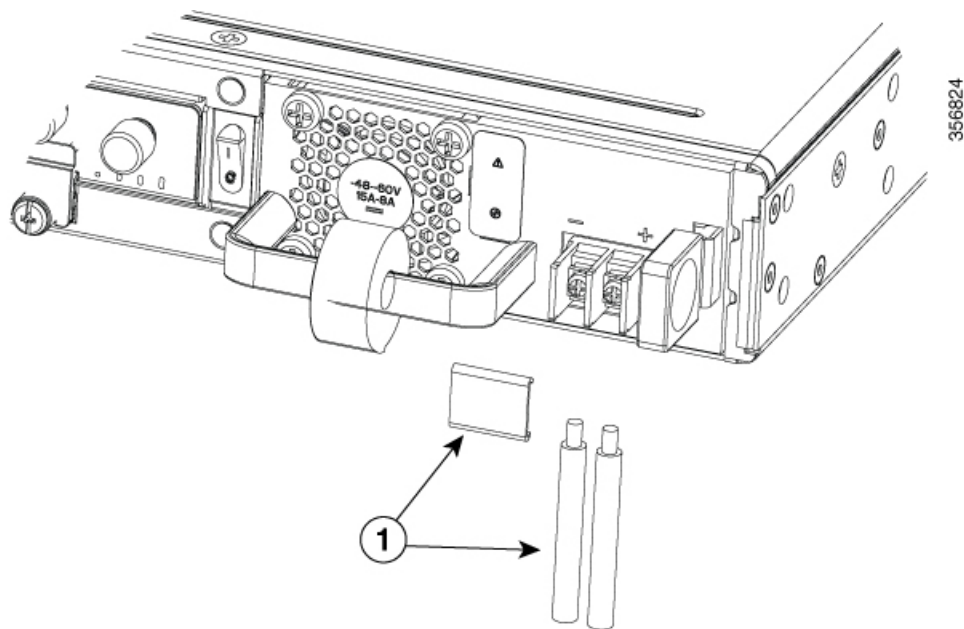
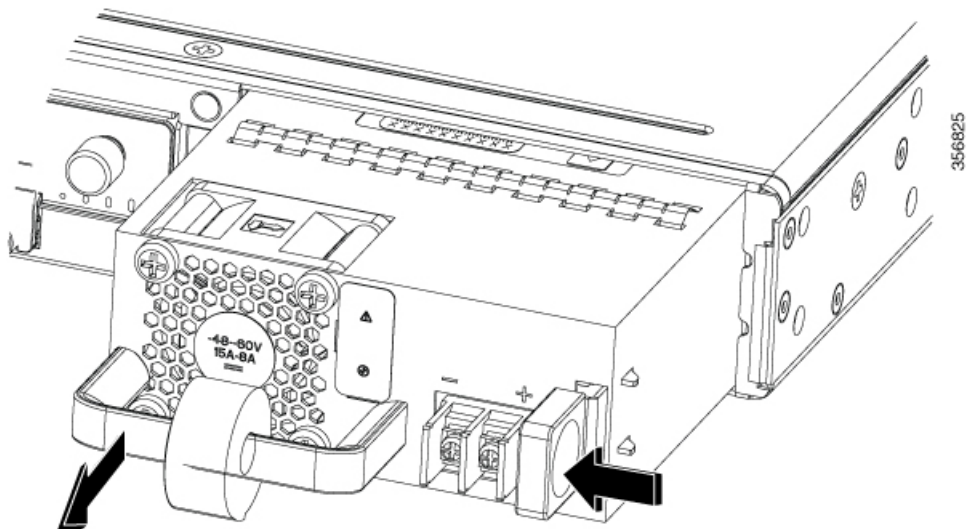


図 24:ステップ 6



C8300-1N1S-4T2X|6T の DC 電源装置の交換または取り付けを行うには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** ハンドルを使用して、電源をルータに押し込みます。電源が完全に装着されると、電源のラッチでカチッという音がします。

**ステップ 2** これが最初の取り付けの場合は、以下の DC 電源リード線の準備に関するセクションを参照してください。

**ステップ 3** DC 電源リード線を端子ブロックに取り付け、端子ブロックのネジを締めてケーブルを固定します。  
PWR-CC1-400WDC 電源の場合、マイナス導線は左側の端子の位置に取り付け、プラス導線は右側の端子の位置に取り付けます。極性は、電源装置の前面プレートに記載されています。

**注意** 端子ブロックの非脱落型ネジをきつく締めすぎないようにしてください。ぴったりと接続しているが、導線が押しつぶされていないことを確認します。各導線を軽く引いて、導線が動かないことを確認します。

**ステップ 4** 端子ブロックカバーの再取り付け

**ステップ 5** デバイスの電源がオフになっている場合は、デバイスの電源をオンにします。

## DC 電源 (C8300-2N2S-4T2X|6T) の取り外しと交換

C8300-2N2SS-4T2X|6T から DC 電源を取り外すには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** このドキュメントの「安全上の警告」セクションをお読みください。

**ステップ 2** システムに電源が 1 つしかない場合は、続行する前にデバイスをシャットダウンします。

## DC 電源 (C8300-2N2S-4T2X) の取り外しと交換

- ステップ 3** 使用中の冗長電源がある場合、電源を交換する前にルータをシャットダウンする必要はありません。ルータの稼働中に電源を交換できます。
- ステップ 4** 配電盤またはローカル遮断器で、交換する電源装置に接続されている DC 電源リード線 (ラベル **1**) から電源を取り外します。
- ステップ 5** 端子ブロックカバーを取り外し、電源ケーブルを固定している端子ネジ (ラベル **1**) を緩めます。端子ブロックから電源ケーブルを取り外します。
- ステップ 6** 電源のラッチを押し、ハンドルを使用して電源装置をデバイスから引き出します。

図 25: C8300-2N2S-4T2X) からの DC 電源の取り外し

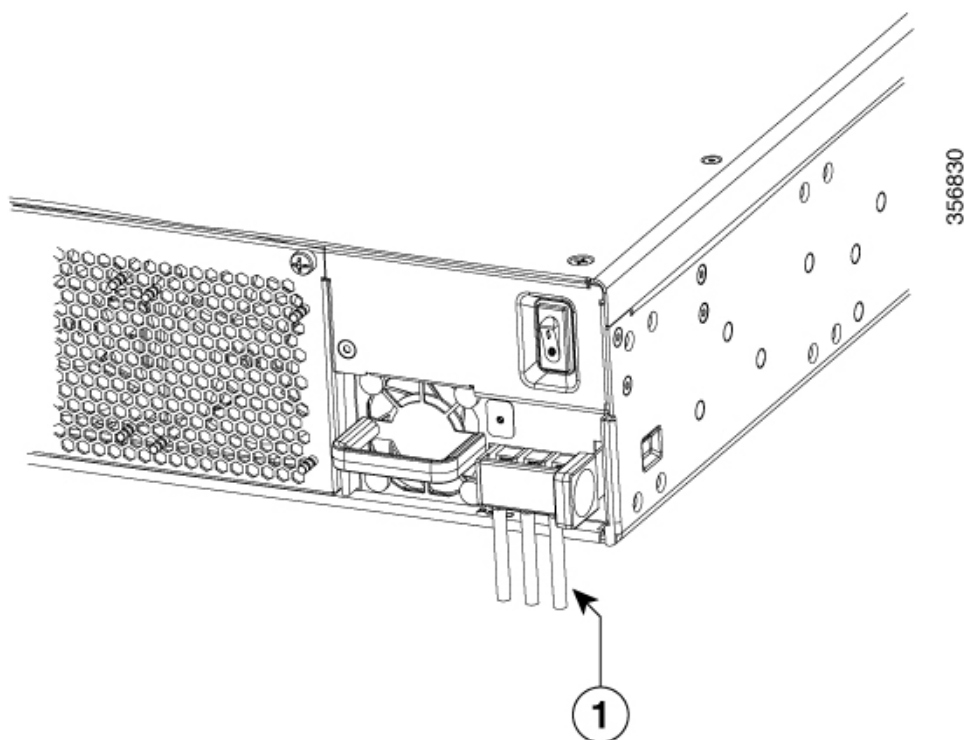




図 26: ステップ 5

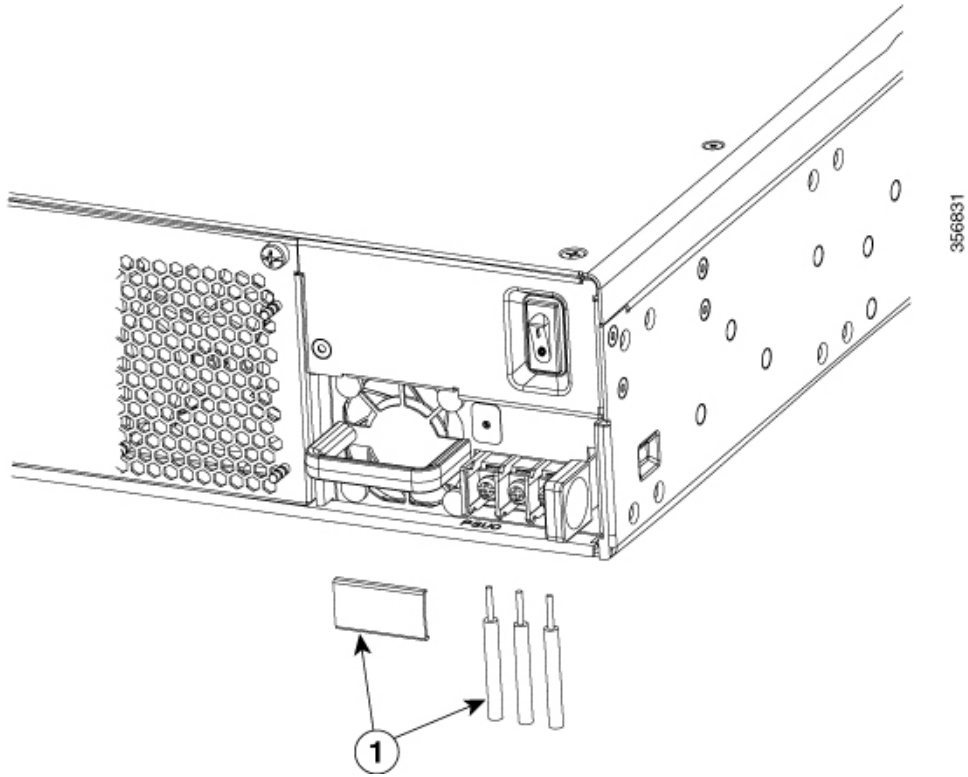
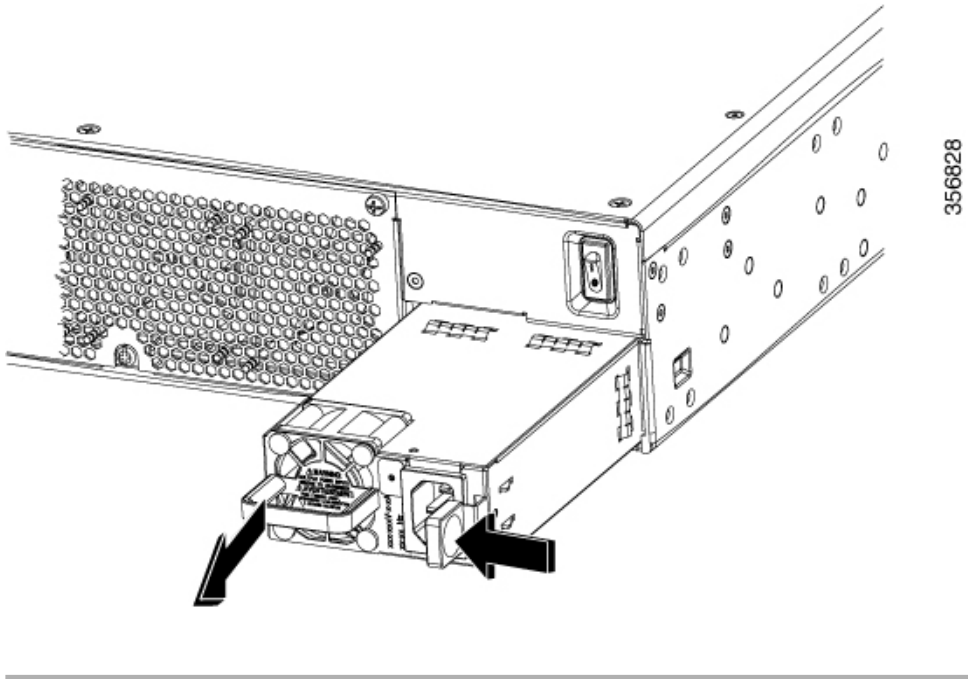


図 27: ステップ 6



C8300-2N2SS-4T2X|6T の DC 電源装置の交換または取り付けを行うには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** ハンドルを使用して、電源をルータに押し込みます。電源が完全に装着されると、電源のラッチでカチッという音がします。
- ステップ 2** これが最初の取り付けの場合は、以下の DC 電源リード線の準備に関するセクションを参照してください。
- ステップ 3** DC 電源リード線を端子ブロックに取り付け、端子ブロックのネジを締めてケーブルを固定します。  
PWR-CC1-650WDC(R) 電源の場合、マイナスの導線は右側の端子位置に取り付け、プラスの導線は左側の端子位置に取り付け、アース線は中央の端子位置に取り付けます。極性は、電源装置の前面プレートに記載されています。
- 注意** 端子ブロックの非脱落型ネジをきつく締めすぎないようにしてください。ぴったりと接続しているが、導線が押しつぶされていないことを確認します。各導線を軽く引いて、導線が動かないことを確認します。
- ステップ 4** 端子ブロックカバーの再取り付け
- ステップ 5** デバイスの電源がオフになっている場合は、デバイスの電源をオンにします。

## DC 入力電源の取り付け

このセクションでは、DC 電源モジュールの入力電源リード線を C8300-1N1S-4T2X|6T および C8300-2N2S-4T2X|6TDC の入力電源装置に装着する方法について説明します。作業を始める前に、次の重要事項に留意してください。

- DC 入力電源モジュールの導線のカラーコーディングは、設置場所の DC 電源のカラーコーディングによって異なります。DC 入力電源モジュール用に選択した導線のカラーコーディングが、DC 電源で使用される導線のカラーコーディングに一致していること、および電源が電源モジュールのマイナス (-) 端子とプラス (+) 端子に接続されていることを確認してください。
- DC 電源モジュールの取り付けを開始する前に、シャーシアースがシャーシに接続されていることを確認します。「シャーシのアース接続部」に記載されている手順に従ってください。



**警告** 次の手順を実行する前に、DC 回路に電気が流れていないことを確認してください。ステートメント 1003

## DC 電源に接続するための導線の準備

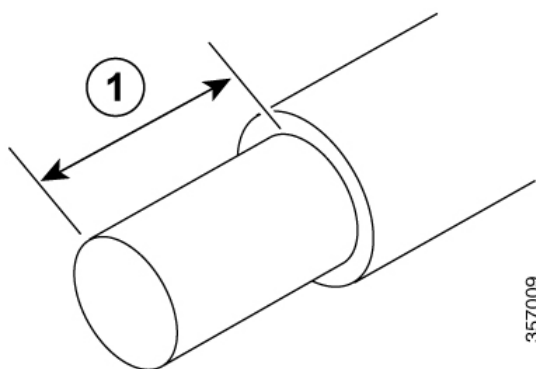
C8300-1N1S-4T2X|6T および C8300-2N2S-4T2X|6T プラットフォームでは、DC 電源には、電源の端子ブロックヘッダーに端子ブロックが装着されています。

次の手順を実行して、端子の電源への接続用の導線を準備します。

- ステップ 1** 電源に接続された電源モジュールから遮断器をオフにします。電源に接続する導線に電圧がかかっていないことを確認します。
- ステップ 2** 電源に接続されている導線を取り除いて、電源の端子ブロックに直接終端できます。代わりに、圧着式 Y 型ラグ端子を導線の端に取り付けることができます。ラグ端子を使用する場合は、製造元の手順に従って、導線でラグを終端処理してください。裸線を使って端子ブロックで直接終端処理する場合は、以下の手順に従います。

ワイヤストリッパを使用して、DC 入力電源からの 2 本の導線の被覆を約 10 mm (0.39 インチ) +/- 0.5 mm (0.02 インチ) 取り除きます。14 AWG 絶縁線を使用することを推奨します。端子ブロックから導線が露出されたままになる可能性があるため、推奨されている長さ以上に被覆を剥がさないでください。次に、被覆を剥がした DC 入力電源線を示します。

図 28: 被覆を剥がした状態の DC 入力電源線



1 端末ブロックで導線の被覆を剥す長さとして、10 mm (0.39 インチ) が推奨されます。

C8300-1N1S-4T2X|6T の端子ブロックを接続するプラスとマイナスの給電位置を特定します。

- a) プラス (+) 導線 (右)
- b) マイナス (-) 導線 (左)

図 29: 導線を接続した DC 電源

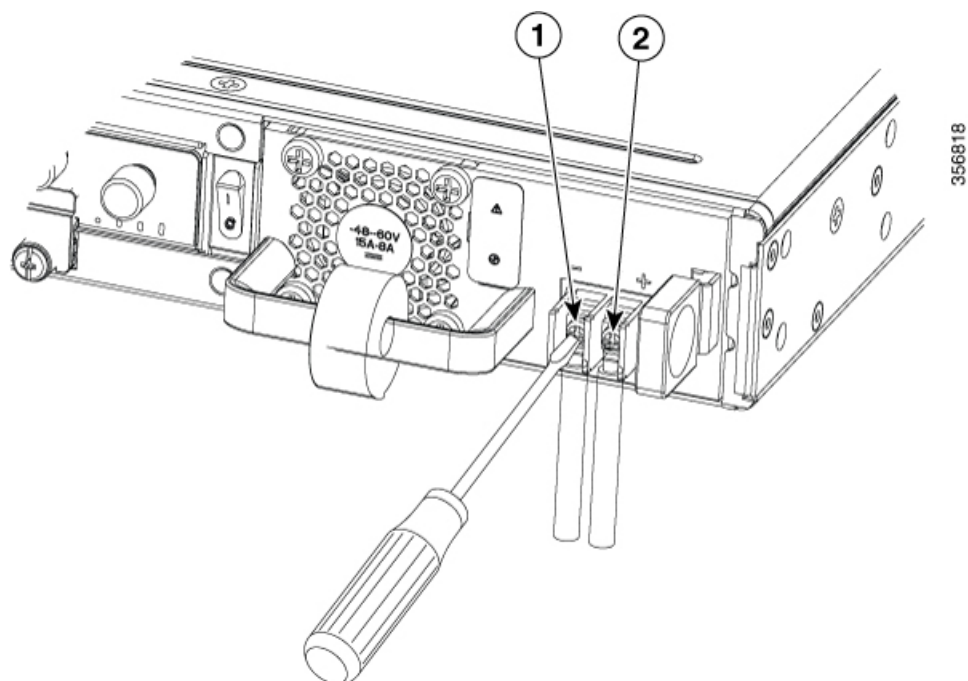


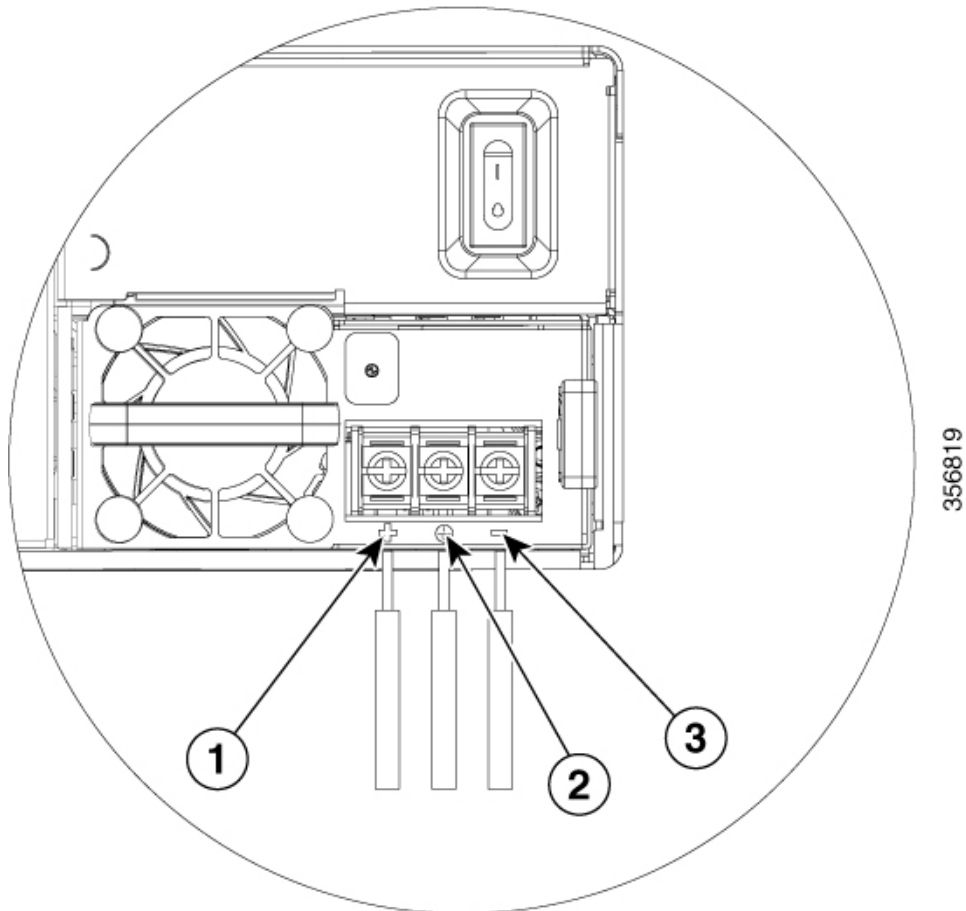
表 2:

1	マイナス (-) 導線
2	プラス (+) 導線

C8300-2N2S-4T2X|6T の端子ブロックを接続するプラス、アース、マイナスの給電位置を特定します。

- プラス (+) 導線 (左)
- アース線 (中央)
- マイナス (-) 導線 (右)

図 30: 導線を接続した DC 電源



1	プラス (+) 導線
2	アース線
3	マイナス (-) 導線

## PoE コンバータ電源装置の取り外しおよび取り付け

PoE コンバータ電源は、活性状態での挿入のみをサポートしており、活性状態での取り外しをサポートしていません。



(注) C8300-2N2S-4T2X|6T での PoE コンバータ電源装置の取り外しと取り付け

## PoE 電源スロットフィルターの取り外し

オプションの PoE コンバータ PSU スロットには、出荷時にフィルターが取り付けられています。PoE コンバータ電源を装着するには、フィルターを取り外す必要があります。PoE コンバータ電源を 1 台だけ使用する場合は、PoE コンバータ電源を PoE スロット 0 に装着する必要があります。

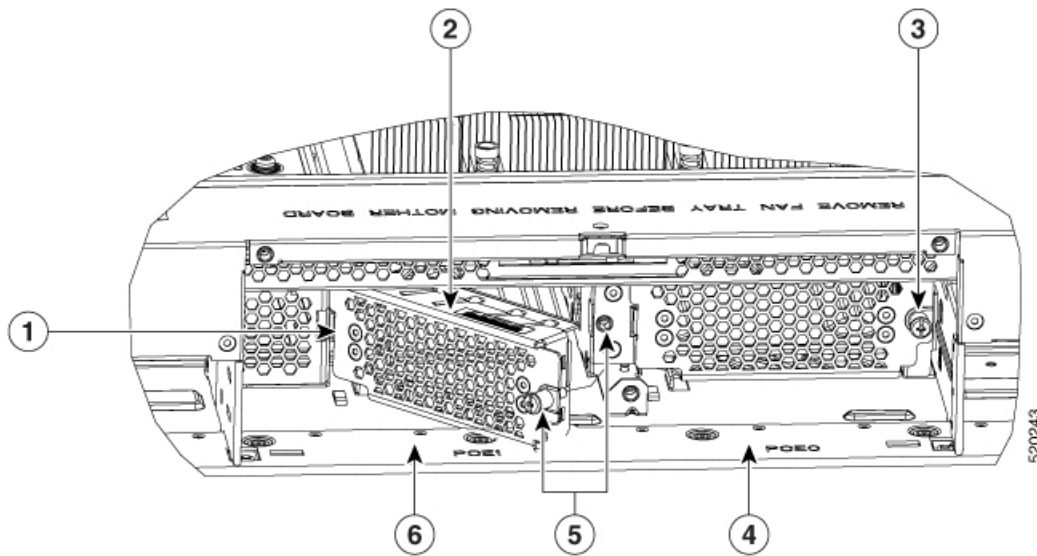
このセクションでは、ファントレイの背後にある PoE コンバータ電源スロットの位置を示します。

## PoE 電源スロットフィルターの取り外し

PoE 電源フィルターの取り外し手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** シャーシのファントレイを固定しているネジを緩めます。  
**ステップ 2** デバイスからファントレイを取り外します。  
**ステップ 3** デバイスのフィルターパネルを固定しているネジを緩めます。  
**ステップ 4** ネジを引き、フィルターパネルを回転させてスロットから外します。

図 31: PoE 電源スロットフィルターの取り外し



1	シャーシの装着タブスロット	2	PoE スロット 1 に装着される PoE フィルター
3	PoE スロット 0 に装着された PoE フィルター	4	PoE スロット 0
5	回転してシャーシの固定ナットにネジを固定します。	6	PoE スロット 1

## PoE 電源スロットフィルターの取り付け

PoE 電源スロット フィルターの装着手順は、次のとおりです。

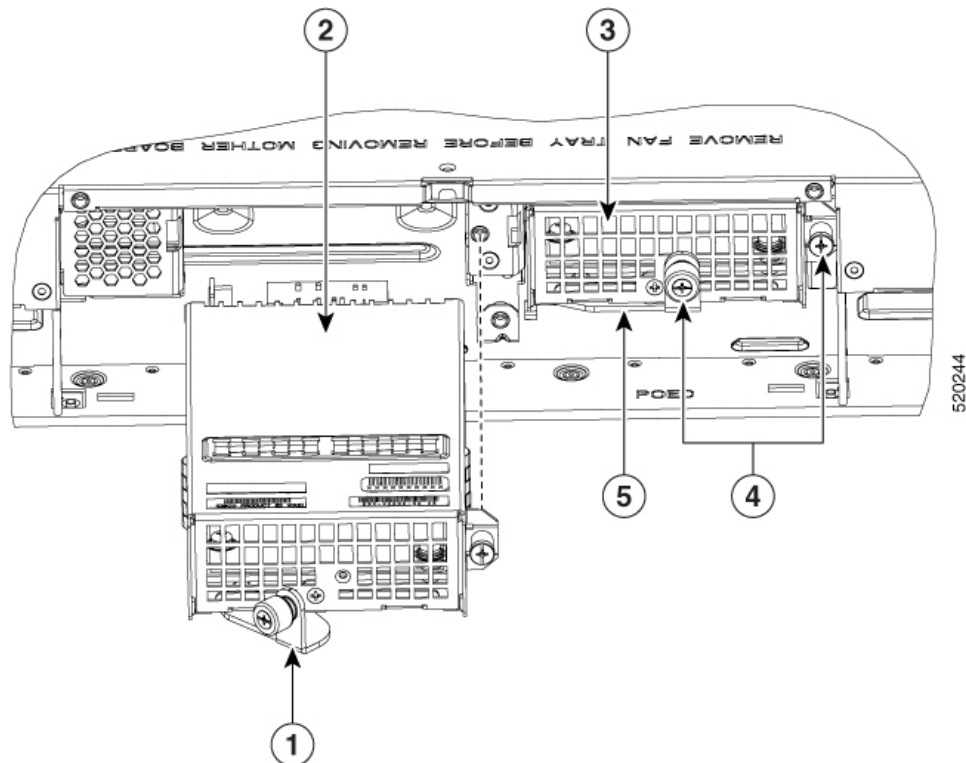
- ステップ1 フィラーパネルの左側にあるタブをシャーシのスロットに取り付けます。
- ステップ2 ネジを締めて、フィラーパネルをシャーシに固定します。
- ステップ3 ファントレイをデバイスに取り付けます。
- ステップ4 シャーシのファントレイを固定しているネジを締めます。

## PoE コンバータ電源の取り外し

PoE コンバータ電源を取り外す手順は、次のとおりです。

- ステップ1 デバイスからファントレイを取り外します。
- ステップ2 シャーシのファントレイを固定しているネジを緩めます。
- ステップ3 デバイスからファントレイを取り外します。
- ステップ4 デバイスの PoE 電源を固定している 2 本のネジを緩めます。
- ステップ5 PoE ラッチを回し、スロットから電源を引き出します。

図 32: PoE コンバータ電源の取り外し



1 モジュールを固定するためのラッチ（開いた状態）。	2 PoE スロット 1 に装着された PoE コンバータモジュール
----------------------------	------------------------------------

## PoE コンバータ電源の取り付け

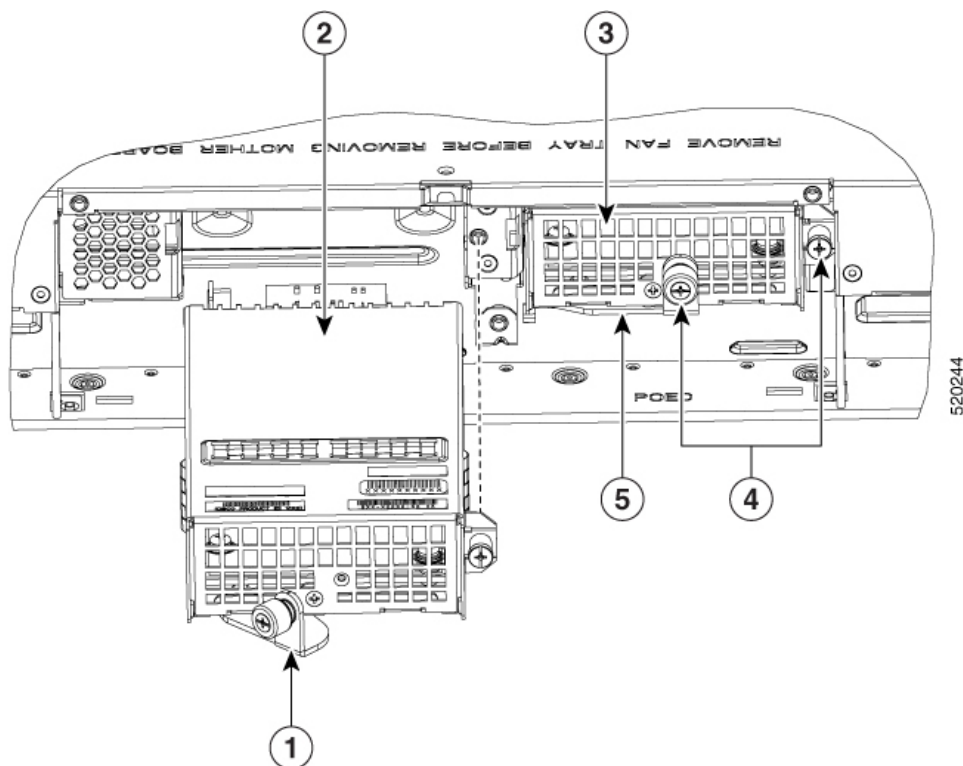
3	PoE スロット 0 に装着された PoE コンバータモジュール	4	シャーシに PoE モジュールを固定するネジ。
5	PoE コンバータ モジュールを固定するためのラッチ（閉じた状態）。		

## PoE コンバータ電源の取り付け

PoE コンバータ電源を取り付ける手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** PoE 電源をスロットに押し込み、電源が完全に装着されるまで続けます。電源のラッチが電源装置の前面プレートに接触するまで回転させます。
- ステップ 2** ネジを締めて、フィラーパネルをシャーシに固定します。
- ステップ 3** デバイスの PoE 電源を固定している 2 本のネジを締めます。
- ステップ 4** ファントレイをデバイスに取り付けます。
- ステップ 5** シャーシのファントレイを固定しているネジを締めます。

図 33: PoE コンバータ電源の取り付け



1	モジュールを固定するためのラッチ（開いた状態）。	2	PoE スロット 1 に装着された PoE コンバータモジュール
---	--------------------------	---	----------------------------------



3	PoE スロット 0 に装着された PoE コンバータモジュール	4	シャーシに PoE モジュールを固定するネジ。
5	PoE コンバータ モジュールを固定するためのラッチ（閉じた状態）。		

イーサネット スイッチ ネットワーク モジュールのあるデバイスで PoE 電源をリロードまたは挿入しようとすると、次のメッセージが表示されます。

Example:

```
*Jul 21 22:35:23.868: %IOSXE_PEM-6-INSPEM_FM: PEM/FM slot POE0 inserted
Upon PoE converter power supply insertion, inline power supply restores automatically in the router.
After the insertion, resets are needed for the switch modules in the router for the PoE supply to
work properly.
If there are two PoE supplies, the power supplies can operate in a boost mode or redundant mode. In
a boost mode, the total power supplied is a sum of the two power supplies capacity. In a redundant
mode, if one of the PoE supply fails, the other PoE will supply power.
```

## Cisco Catalyst 8300 シリーズ エッジ プラットフォーム用 ファントレイの交換

Cisco Catalyst 8300 シリーズ エッジ プラットフォームには、現場交換可能ユニット（FRU）であるファントレイがあります。ファントレイは1つのアセンブリにすべてのファンが含まれます。ファンに障害がある場合、No.1 プラスドライバを使用してトレイを交換します。

### ファントレイを交換する前に

ファントレイを交換する前に、次の安全上の注意事項を読み、必要な工具を用意してください。

### C8300-2N2S-4T2X|6T のファントレイの交換

C8300-2N2S-4T2X|6T は、標準エアフローをサポートしています（標準バージョン）。

ファントレイを交換するには、次の手順を実行します。



(注) ファントレイをホットスワップする場合、デバイスを動作温度以下に保つために、2分以内で操作を完了することを推奨します。

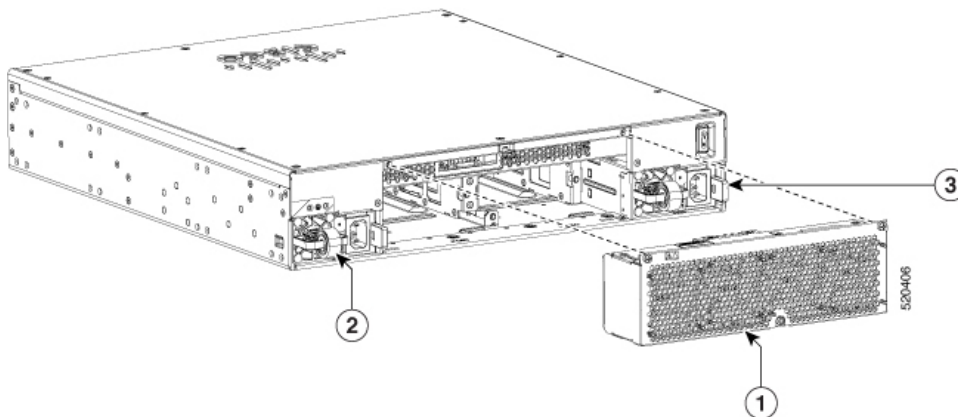
**ステップ 1** ファントレイの 3 本の非脱落型ネジを緩めます。

## C8300-2N2S-4T2X|6T からのファントレイエアークフィルタの取り外し

ステップ2 ファントレイを引き出します。

ステップ3 取り付けるファントレイを挿入し、3本の非脱落型ネジを締めます。

図 34 : C8300-2N2S-4T2X|6T のファントレイ



1	ファントレイ
2	PSU 1
3	PSU 0

## C8300-2N2S-4T2X|6T からのファントレイエアークフィルタの取り外し

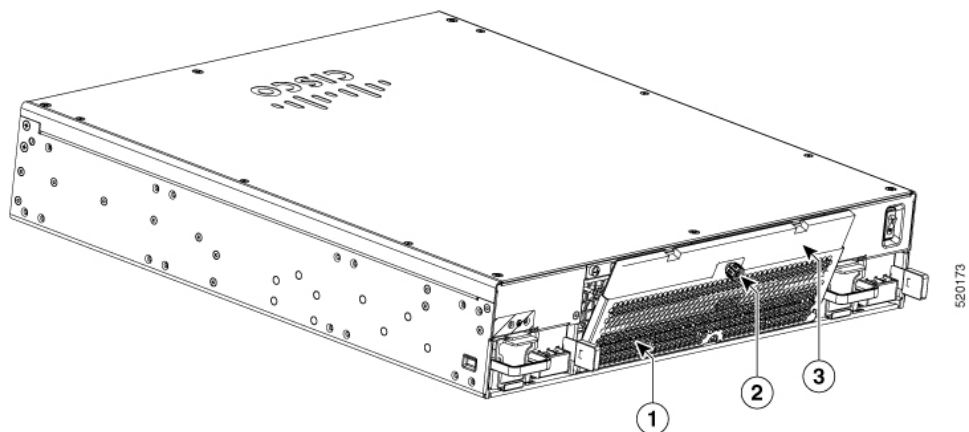
ファントレイを挿入するには、次の手順を実行します。

ステップ1 中央の非脱落型エアークフィルタネジを緩めます。

ステップ2 古いエアークフィルタを引き出します。

ステップ3 交換のファントレイを挿入し、非脱落型ネジを締めます。

図 35: ファントレイエアークフィルタ (Cisco 8300-2N2S-4T2X|6T) の再取り付け



1	エアークフィルタカバー
2	エアークフィルタの非脱落型ネジ
3	エアークフィルタ

- (注)
- エアークフィルタの最初の検査は、エアークフィルタの最初の取り付けから 6 ヶ月後に行う必要があります。
  - エアークフィルタは、最初の 6 ヶ月の検査後 3 ヶ月ごとに検査し、汚れている場合は交換する必要があります。
  - エアークフィルタは清掃および再利用できません。新しいエアークフィルタと交換してください。予備のエアークフィルタを用意することをお勧めします。

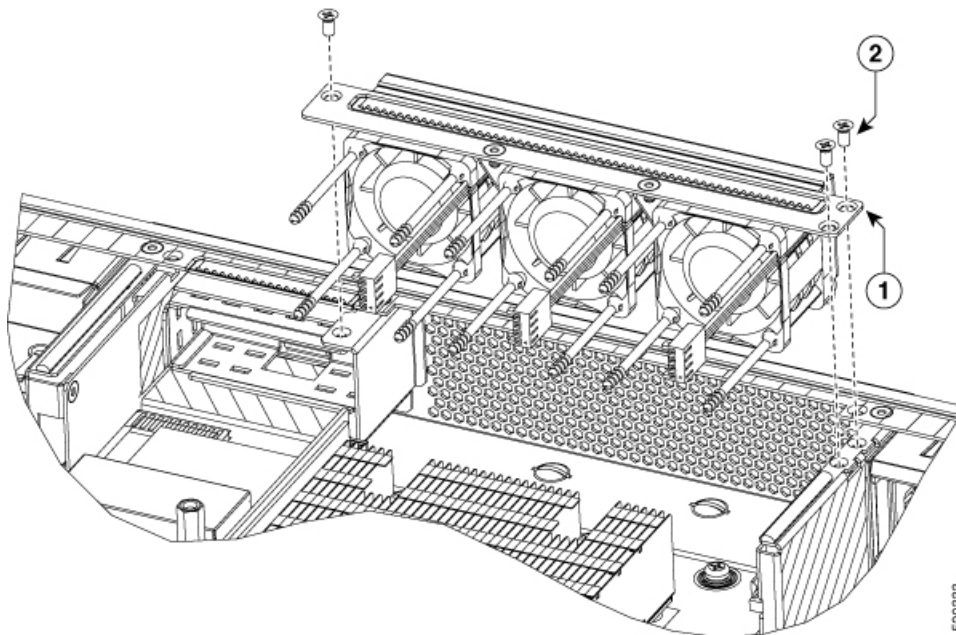
## C8300-1N1S-4T2X|6T からのファントレイの取り外し

C8300-1N1S-4T2X|6T は、標準エアークフローをサポートしています (標準バージョン)。  
ファントレイを交換するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** デバイスの電源切断
- ステップ 2** シャーシからすべてのケーブルを取り外します。
- ステップ 3** ラックに取り付けられている場合は、装置ラックから装置を取り外します。
- ステップ 4** 上部カバーを取り外します。
- ステップ 5** ファントレイから 3 本のネジを取り外します。
- ステップ 6** マザーボードからファンケーブルを外します。
- ステップ 7** ファントレイを取り外します。

## C8300-1N1S-4T2X|6T へのファントレイの取り付け

(注) C8300-1N1S-4T2X|6T のファントレイの交換にかかる推定時間は、熟練した技術者であれば 60 分以内です。

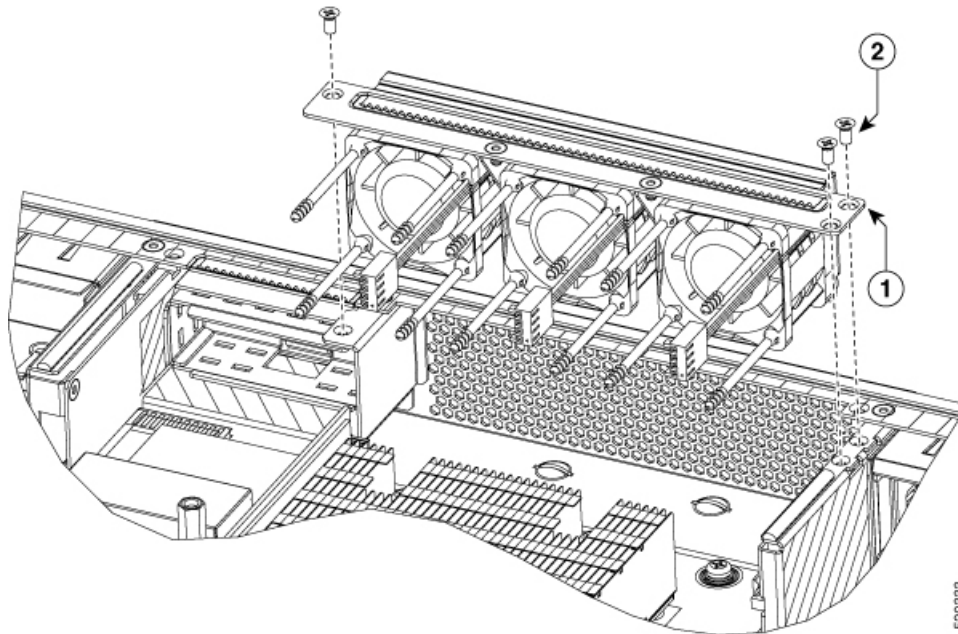


1	ファン トレイ	2	ネジ
---	------------	---	----

## C8300-1N1S-4T2X|6T へのファントレイの取り付け

C8300-1N1S-4T2X|6T は、標準エアフローをサポートしています（標準バージョン）。  
ファントレイを交換するには、次の手順を実行します。

- ステップ1 ファントレイを取り付けます。
- ステップ2 3つのファントレイ取り付けネジを取り付けます。
- ステップ3 ファンケーブルをマザーボードに接続します。
- ステップ4 上部カバーを取り付けます。
- ステップ5 必要に応じて、装置を装置ラックに再度取り付けます。
- ステップ6 シャーシからすべてのケーブルを再度取り付けます。
- ステップ7 装置の電源を入れます。



1	ファン トレイ	2	ベ ジ
---	------------	---	--------

520333

## SFP モジュールと SFP+ モジュールの取り付けおよび取り外し

### 始める前に

サポートされる SFP モジュールおよび SFP+ モジュールの一覧は、[Cisco Catalyst 8300 シリーズ エッジプラットフォームデータシート \(cisco.com 上\)](#) を参照してください。プラットフォームには、サポートされている SFP/SFP+ モジュールのみを使用してください。



**警告** クラス 1 レーザー製品です。ステートメント 1008



(注) インターフェイス モジュールで SFP を取り外してから挿入するまでの間は、少なくとも 30 秒間待機することを推奨します。この時間は、トランシーバソフトウェアの初期化とスタンバイ RSP の同期を可能にするため、推奨されます。これより短い時間で SFP を変更すると、トランシーバの初期化に問題が発生し、SFP をディセーブルになる可能性があります。

## レーザーの安全に関する推奨事項

- SFP モジュールポートおよび SFP+ モジュールポートの埃よけプラグ、または光ファイバケーブルのゴム製キャップは、ケーブルを接続する準備が整うまでは取り外さないでください。これらのプラグおよびキャップは、モジュールポートやケーブルを汚れや周辺光から保護する役割を果たします。
- SFP モジュールおよび SFP+ モジュールの取り外しや取り付けを行うと、モジュールの耐用期間が短くなる可能性があります。SFP/SFP+ モジュールの取り外しや取り付けは、必要最低限にしてください。
- 静電破壊を防ぐため、ケーブルをスイッチや他の装置に接続する場合は、ボードおよびコンポーネントを正しい手順で取り扱うようにしてください。
- 複数のポートに複数の SFP モジュールおよび SFP+ モジュールを挿入するときは、各 SFP / SFP+ モジュールを挿入してから次のモジュールを挿入するまで 5 秒間待機します。これにより、ポートが **error-disabled** モードにならなくなります。同様に、ポートから SFP および SFP+ を取り外したときは、再度挿入する前に 5 秒間待機します。

**ステップ 1** 手首に静電気防止用リストストラップを着用して、ストラップの機器側をアース表面に接続します。

**ステップ 2** SFP/SFP+ モジュールは、送信側 (TX) および受信側 (RX) の印があるほうが上面です。

SFP/SFP+ モジュールによっては、送信側と受信側 (TX と RX) の印の代わりに、接続の方向を示す矢印が付いている場合もあります。

**ステップ 3** ベールクラスプ ラッチ付きの SFP/SFP+ モジュールの場合は、ロック解除の位置までラッチを開きます。

**ステップ 4** モジュールをスロットの開口部に合わせて、コネクタをスロットの奥にはめ込みます。

**ステップ 5** モジュールにベールクラスプ ラッチが付いている場合は、ラッチを閉じて SFP/SFP+ モジュールを固定します。

**ステップ 6** SFP および SFP+ のダストプラグを取り外して保管します。

**ステップ 7** SFP ケーブルおよび SFP+ ケーブルを接続します。

## レーザーの安全に関する推奨事項

光 Small-Form Pluggable (SFP) は光ファイバ信号を生成するために少量のレーザー光を使用します。ケーブルがポートに接続されていない場合は常に、光の伝送を保ち、対象のポートを受信します。



**警告** 接続されていない光ファイバケーブルやコネクタからは目に見えないレーザー光が放射されている可能性があります。レーザー光を直視したり、光学機器を使用して直接見たりしないでください。ステートメント 1051



**警告** 本製品の最終処分は、各国のすべての法律および規制に従って行ってください。ステートメント 9001



**警告** プラガブル型の光モジュールは、IEC 60825-1 Ed に準拠しています。IEC 60825-1 Ed への準拠に関する例外の有無にかかわらず、3 および 21 CFR 1040.10 と 1040.11。3 は 2019 年 5 月 8 日付の Laser Notice No. 56 の記載のとおりです。ステートメント 1255

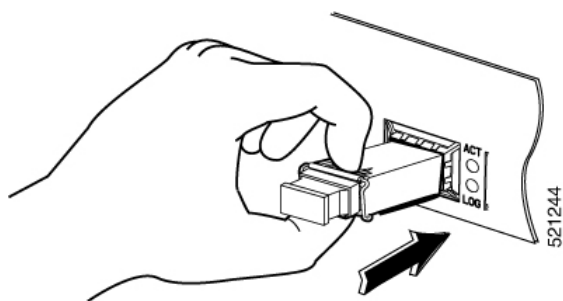
SFP モジュールをデバイスに取り付ける手順は次のとおりです。

**ステップ 1** モジュールを交換する前に、「安全上の警告」セクションを読み、電源を切断します。

**ステップ 2** 所定の位置に固定されるまで、SFP をデバイスにスライドさせて挿入します。

**ヒント** SFP が留め具式ラッチを使用している場合（「レーザーの安全に関する推奨事項」セクションを参照）、ハンドルが SFP モジュールの上に来るようにします。

図 36: Small Form-factor Pluggable モジュールの取り付け



**注意** ケーブル接続の準備ができていない場合、SFP から光ポートのプラグを外さないでください。

**ステップ 3** ネットワーク ケーブルを SFP モジュールに接続します。

## Small Form-factor Pluggable モジュールの取り外し

Small Form Pluggable (SFP) をデバイスから取り外すには、次の手順に従います。

**ステップ 1** モジュールを交換する前に、「安全上の警告」セクションを読み、電源を切断します。

**ステップ 2** SFP からすべてのケーブルの接続を外します。

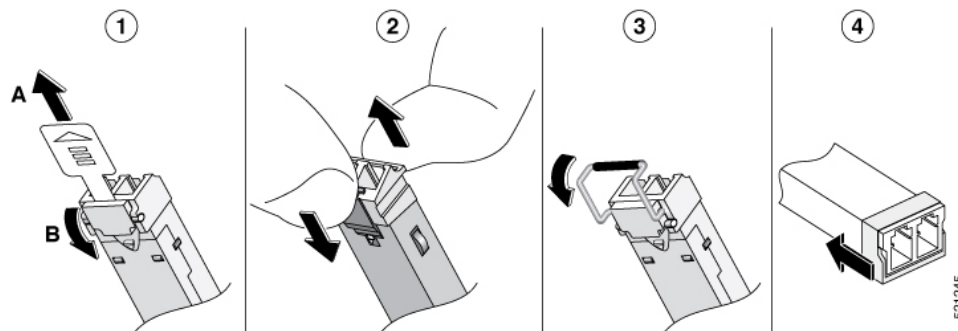
**警告** 接続されていない光ファイバケーブルやコネクタからは目に見えないレーザー光が放射されている可能性があります。レーザー光を直視したり、光学機器を使用して直接見たりしないでください。

**注意** 多くの SFP に使用されているラッチメカニズムでは、ケーブルが接続されているときは SFP は所定の位置でロックされます。SFP を取り外すときに、ケーブル接続を引っ張らないでください。

**ステップ 3** SFP ラッチの接続を外します。

(注) SFP ポートのモジュールのセキュリティを保護するために、SFP モジュールは多様なラッチデザインを使用しています。ラッチデザインは SFP のモデルまたはテクノロジーの種類に関係ありません。SFP のテクノロジーの種類とモデルについては、SFP の側面にあるラベルを参照してください。

図 37: SFP ラッチメカニズムの接続解除



1	スライド式ラッチ	3	留め具式ラッチ
2	スイング & スライド式ラッチ	4	プラスチック カラー式ラッチ

**ヒント** 指が届かない場合、ペン、ドライバ、または他のまっすぐな道具を使用して、留め具のハンドルを慎重に外します。

**ステップ 4** SFP の両側をつかんで、デバイスから取り外します。

## USB フラッシュ トークン メモリ スティックの取り外しと交換

Cisco Catalyst 8300 シリーズ エッジプラットフォームには、シスコ構成または Cisco IOS XE 統合パッケージを保存するための USB メモリ スティック用のポートがあります。



**注意** USB フラッシュ メモリ モジュールに発行したファイルアクセス コマンドや読み取り/書き込み操作が処理されているときは、そのフラッシュ メモリ モジュールを取り外さないでください。ルータがリロードされるか、USB フラッシュ メモリ モジュールが損傷するおそれがあります。USB デバイスを取り外す前に、ルータの前面パネルにある USB 動作 LED が点滅していないことを確認します。



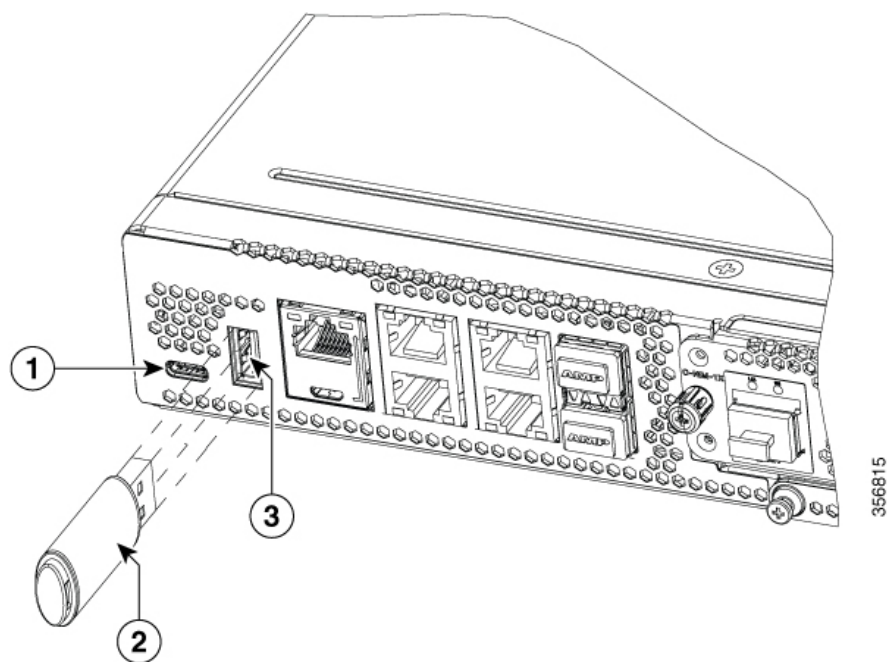
デバイスから USB メモリ スティックを取り付け、取り外しを行うには、次の手順に従います。

**ステップ 1** USB スティックを USB ポートに差し込みます。

**ステップ 2** タイプ C メモリ スティックは USB ポート 1 でサポートされており、タイプ C メモリは任意の方向に挿入できます。タイプ A メモリ スティックは USB ポート 0 でサポートされており、適切に挿入できるように正しい向きになっている必要があります。

(注) メモリ スティックをポートに挿入する方法のサンプルです。

図 38: USB メモリ スティック



(注) メモリ スティックの挿入または取り外しは、デバイスの電源がオンでもオフでも行うことができます。

1	USB タイプ C (3.0) (USB 1)
2	USB スティック
3	USB タイプ A (3.0) (USB 0)

### 次のタスク

これで、USB フラッシュ メモリの取り付け手順は完了です。

## M.2 USB|NVMe モジュールの取り外しおよび取り付け

このセクションでは、Cisco Catalyst 8300 シリーズ エッジプラットフォーム上の M.2 USB|NVMe モジュールの取り付けと交換について説明します。

### 静電破壊の防止

M.2 モジュールは静電放電 (ESD) によって破損しやすいコンポーネントです。静電破壊は、電子カードまたはコンポーネントの取り扱いが不適切な場合に発生します。ESD は故障または間欠的な障害を引き起こす可能性があります。

静電破壊を防ぐために、次の注意事項に従ってください。

- 常に静電気防止用リストまたはアンクルストラップを肌に密着させて着用してください。
- ストラップの装置側を塗装されていないシャーシの面に接続します。
- M.2 ストレージデバイスを静電気防止用シートの上に置くか、静電気防止用袋に収めてください。デバイスを返却する必要がある場合は、取り外した後、ただちに静電気防止用袋に入れてください。
- デバイスと衣服が接触しないように注意してください。リストストラップは身体の静電気からデバイスを保護するだけです。衣服の静電気が、静電破壊の原因になることがあります。
- 装着が完了するまでリストストラップは外さないでください。



**注意** 安全のために、静電気防止用ストラップの抵抗値を定期的にチェックしてください。抵抗値は 1 ~ 10 MΩ (メガオーム) でなければなりません。

## M.2 USB|NVMe モジュールの取り外し

M.2 USB|NVMe モジュールを取り外すには、次の手順を実行します。



(注) C8300 1N1S-4T2X|6T と C8300 2N2S-4T2X|6T の M.2 USB|NVMe モジュールの取り付けは異なります。

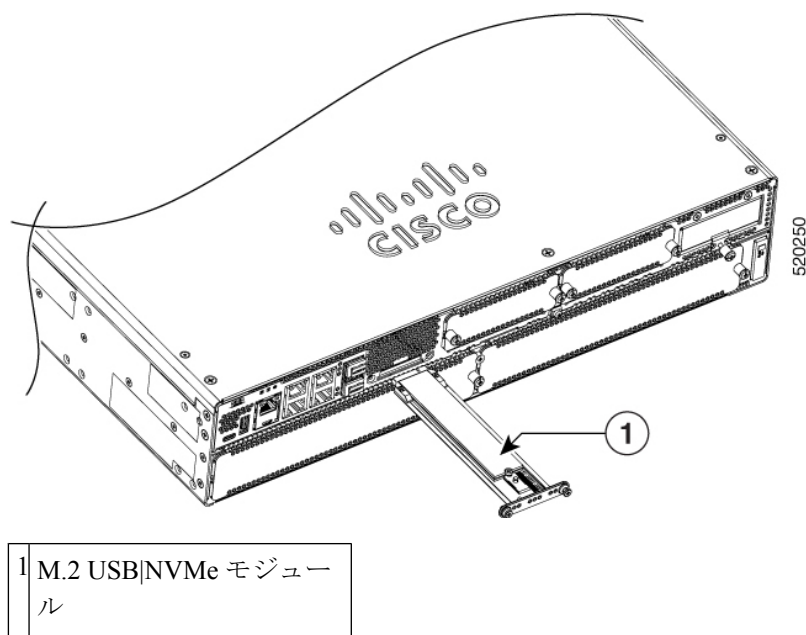
M.2 USB|NVMe モジュールは上下反転します。

**ステップ 1** モジュールを交換する前に、デバイスの電源を落とし、電源を切断してください。

**ステップ 2** No.1 プラスドライバを使用して 2 本の取り付けネジを緩めます。

**ステップ3** M.2 USB|NVMe モジュールをゆっくりと引き出し、デバイスから取り外します。

図 39: M.2 USB|NVMe モジュール (C8300-2N2S-4T2X|6T) の取り外し



## M.2 USB|NVMe モジュールの取り付け



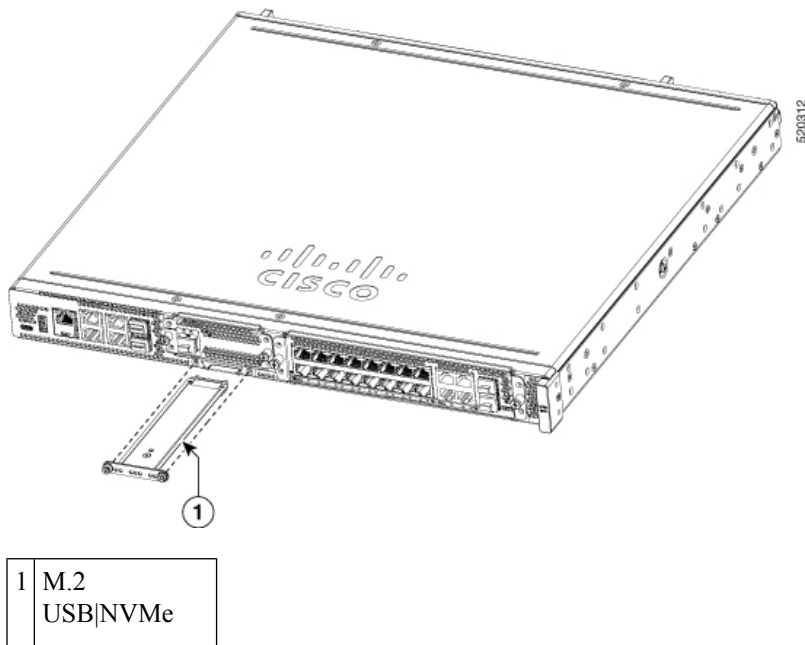
(注) C8300-1N1S-4T2X|6T と C8300-2N2S-4T2X|6T の M.2 USB|NVMe モジュールの取り付けは異なります。

M.2 USB|NVMe モジュールの向きが反転します。C8300-1N1S-4T2X|6T の場合、PCB は下向きになりますが、C8300-2N2S-4T2X|6T の場合、PCB は上向きになります。

M.2 USB|NVMe モジュールを取り付けるには、次の手順に従います。

- ステップ1** すべての安全上の警告を読み、C8300-1N1S-4T2X|6T の電源が入っていないことを確認します。
- ステップ2** M.2 USB|NVMe モジュールをデバイスのスロットに挿入します (図を参照)。スライドが内部カードガイドにかみ合うようにします。
- ステップ3** 前面プレートがデバイスと同一面上になるまで、M.2 USB|NVMe モジュールをゆっくりと完全にスライドさせます。
- ステップ4** 2本のプラスネジをねじ込んで締め付けます。4〜6 インチポンドのトルクで締めます。
- ステップ5** これで、デバイスの電源をオンにできます。

図 40: M.2 USB|NVMe (C8300-1N1S-4T2X|6T) を取り付けます。



## 自己暗号化ドライブの管理

Cisco Catalyst 8300 シリーズエッジプラットフォーム シリーズは自己暗号化ドライブ (SED) をサポートしているため、これらのプラットフォームに保存されているデータのセキュリティを強化できます。SEDはセキュリティキーを使用してロックされます。このセキュリティキーはキー暗号化キーまたは認証パスフレーズとも呼ばれ、メディア暗号化キーの暗号化に使用されます。ディスクがロックされていない場合、データの取得にキーは必要ありません。セキュリティロックを有効にするには、**hw-module harddisk security-lock enable** コマンドを使用します。セキュリティロックを無効にするには、**no hw-module harddisk security-lock enable** コマンドを使用します。

また、次の操作も実行できます。

- セキュリティステータスを確認するには、**show hw-module harddisk security-lock status** コマンドを使用します。
- セキュリティロックが有効になっているときに SED で工場出荷時の状態にリセットするには、**factory-reset sed** を使用します。
- セキュリティロックのステータスを確認せずに SED で工場出荷時の状態にリセットするには、**factory-reset sed PSID** コマンドを使用します。PSID (Physical Secure ID) は、SED ドライブに貼付されたラベルから読み取られる 32 文字の ASCII 文字列です。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。